



学校法人森ノ宮医療学園 平成25年度 決算報告概要

財務資料の内、消費収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表を千円単位で示してあります。
帰属収入28億4277万円、消費支出22億5408万円、帰属収支差額5億8869万円になります。

注1)表中、(*印)科目は複数の科目をまとめてあります。

注2)表示は、消費収支計算書を主として、資金収支計算書は簡略化してあります。

消費収支計算書概要 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

《消費収入の部》 (単位:千円)		
科 目	予 算	決 算
学生生徒納付金	2,564,883	2,475,695
手数料	39,640	47,352
寄付金	7,170	13,340
補助金	70,000	90,022
資金運用収入	10,400	9,311
事業収入	176,182	190,800
雑収入	11,500	16,251
帰属収入合計	2,879,775	2,842,771
基本金組入額合計	△ 149,217	△ 92,941
消費収入の部合計	2,730,558	2,749,830

《消費支出の部》 (単位:千円)		
科 目	予 算	決 算
人件費	1,405,157	1,341,500
教員人件費	982,566	923,587
職員人件費	370,716	370,055
役員報酬	9,175	9,110
退職給与引当金繰入額	39,100	35,708
退職金	3,600	3,041
教育研究経費	790,579	661,469
消耗品費	78,785	63,529
光熱水費	46,822	45,377
旅費交通費	3,146	1,733
奨学費	24,850	17,240
福利費	50,295	37,486
通信運搬費	7,112	5,714
印刷製本費	6,662	3,827
保守管理費	52,328	51,589
修繕費	25,898	16,123
損害保険料	2,299	2,124
賃借料	1,900	1,334
諸会費	5,817	4,995
報酬委託手数料	48,231	20,862
* 渉外費・雑費他	2,100	1,721
行事費	26,158	26,068
教材費	8,315	5,603
実習費	85,853	60,485
研究費	49,682	36,029
調査費	2,000	0
減価償却額	212,420	211,219
医療経費	49,906	48,412
管理経費	268,454	241,303
消耗品費	9,569	9,488
光熱水費	6,234	6,172
旅費交通費	3,300	3,282
福利費	15,706	12,648
通信運搬費	3,565	2,855
* 保守管理費・損害保険料・賃借料	8,347	5,988
公租公課	4,120	1,525
修繕費	2,310	2,236
諸会費・会議費	2,111	1,529
報酬委託手数料	27,292	20,778
広報費	138,350	138,305
研修研究費	4,770	2,065
* 渉外費・調査費	8,030	2,522
* 雑費・印刷製本費・補助金返還金	3,750	3,522
減価償却額	31,000	28,386
資産処分差額その他	0	9,809
消費支出の部合計	2,495,590	2,254,081
当年度消費収入超過額	234,968	495,749
前年度繰越消費収入超過額	616,848	616,848
基本取崩額	0	30,000
翌年度繰越消費収入超過額	851,816	1,142,597

資金収支計算書概要 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

《資金収入の部》 (単位:千円)		
科 目	予 算	決 算
帰属収入合計	2,879,775	2,842,771
前受金収入	1,304,389	1,109,439
その他の収入	49,485	62,757
資金収入調整勘定	△ 1,142,624	△ 1,148,320
前年度繰越支払資金	4,114,356	4,114,356
収入の部合計	7,205,381	6,981,002

《資金支出の部》		
科 目	予 算	決 算
人件費支出	1,372,057	1,312,309
教育研究経費支出	578,159	451,656
管理経費支出	237,454	212,917
施設関係支出	50,658	34,698
建物支出	47,458	31,574
構築物支出	3,200	3,124
建設仮勘定支出	0	0
設備関係支出	77,458	56,987
教育研究用機器備品支出	36,840	28,305
その他の機器備品支出	10,900	5,647
診療所機器備品支出	200	168
図書支出	17,118	10,908
車輛支出	1,300	1,300
ソフトウェア支出	11,100	10,659
その他の支出	337,383	338,034
資金支出調整勘定	△ 90,223	△ 117,605
次年度繰越支払資金	4,605,236	4,692,006
支出の部合計	7,205,381	6,981,002

貸借対照表概要 平成26年3月31日

《資産の部》 (単位:千円)		
科 目	本年度末	前年度末
固定資産	8,444,305	8,593,324
有形固定資産	8,394,246	8,549,683
土地	4,573,752	4,573,752
建物	3,254,423	3,345,869
構築物	119,101	131,130
教育研究用機器備品	136,679	179,757
その他の機器備品	22,385	28,776
診療所機器備品	60,640	74,733
図書	225,646	214,738
車輛	1,620	928
建設仮勘定	0	0
その他の固定資産	50,060	43,641
収益事業元入金	30,000	30,000
保証金	495	475
ソフトウェア	19,565	13,166
流動資産	4,754,376	4,178,840
現金預金	4,692,006	4,114,356
未収入金	46,491	49,485
貯蔵品	2,632	1,227
立替金	5,175	6,332
* 前払金・仮払金	8,071	7,440
資産の部合計	13,198,681	12,772,164

《負債の部》		
科 目	本年度末	前年度末
固定負債	273,069	243,879
退職給与引当金	273,069	243,879
長期未払金	0	0
流動負債	1,315,992	1,507,355
未払金	110,165	329,943
前受金	1,109,439	1,093,139
預り金	92,731	84,274
仮受金	3,657	0
負債の部合計	1,589,062	1,751,234

《基本金の部》		
科 目	本年度末	前年度末
第1号基本金	10,316,022	10,263,081
第4号基本金	151,000	141,000
基本金の部合計	10,467,022	10,404,081

《消費収支差額の部》		
科 目	本年度末	前年度末
翌年度繰越消費収入超過額	1,142,597	616,848
消費収支差額の部合計	1,142,597	616,848
負債・基本金・収支差額の部合計	13,198,681	12,772,164

【卒業生インタビュー】 P7・8

「生涯現役」を目指して、鍼灸師の道を決断。

白石 哲夫さん

(森ノ宮医療学園専門学校 第29期 鍼灸学科昼間部・第3期 柔道整復学科夜間部卒)

目指す理学療法士の道を歩み始めて1年。

やりがいを感じる毎日です。

平川 正彦さん

(森ノ宮医療大学第4期 理学療法学科卒業)

【校友会情報】 P2-3・P6・P9

会長挨拶/理事長挨拶/クラス会助成金について

校友会鍼灸室について/校友会鍼灸室勉強会のお知らせ

校友会交流会のご案内/同窓会

平成25年度決算報告書/平成26年度予算

【座談会】1期2期3期生、「大阪鍼灸」草創期を語る P4・5

【NEWS&EVENT REPORT】 P10-16

森ノ宮医療大学

平成25年度卒業式・修了式/平成26年度 入学式

大学経営企画室/学生支援室から/大学広報室から/大学図書館から

コスモス治療院だより/大学院から/MUMSAIC 鍼灸情報センターから

森ノ宮医療学園専門学校 P17-22

アメリカ研修2014を終えて/総務広報課から/学務課から

2015年度入試情報/平成25年度卒業生表彰者

【INFORMATION】 P23-25

出版部/治療室におすすめBook・CD/「モクサアフリカ」活動報告

メディカルアロマから/学会情報/本の紹介

【みどりの風クリニックだより】 P26

寄付金募集について/寄付金申込者ご芳名 P27

森ノ宮医療学園平成25年度決算報告 P28



輝く母校であり続けるために

森ノ宮医療学園校友会 会長 浜田 暁



平素は校友会活動に格別のご支援とご協力をいただき、心より感謝するとともにお礼を申し上げます。
学園も今年41周年を迎え、会員数も7千名を数えるまでに成長してきました。一方、少子化が進展する中で、18歳人口の減少は各校の学生獲得競争を激化させ、さらなる「魅力ある学校づくり」が叫ばれています。本学園も、常に教育環境の改善、施設の充実、質の高い教育内容の確保、国家試験合格率の向上に努めており、校友会としても学園の校友室と連携しながら、それら学園活動の支援を進めております。
これまで校友会は、学生の皆さんに快適な学園生活を過ごしていただくために多くの支援を行うとともに、卒後は就職や研修、相談などのスキルアップ支援、地域・職域で活躍する会員の情報発信、親睦を深める交流会の開催等々により、愛校心の高揚とともに、素晴らしい仲間とのつながりや絆の構築に努めてまいりました。幸い専門学校は40年にわたる伝統の中で多くの素晴らしい人材を輩出し、さらに大学においても鍼灸、理学療法、看護、大学院ともに順調な経過をたどり、来年には看護学科第1期生が卒業を迎えることになり、大きな期待がかけられています。これまで培ってきた母校との固い絆のもと、会員一人ひとりの社会での活躍こそが母校の名を馳せ、学園の価値を高めることだと確信しております。校友会も様々な活動を展開し、新しいステージへ挑む覚悟です。一層のご支援をお願い申し上げます。

学園のさらなる発展をめざして

森ノ宮医療学園 理事長 清水 尚道

卒業生の皆様におかれましては、日頃より学園へのご理解ご支援を賜り、誠に感謝いたしております。

学校法人森ノ宮医療学園は「臨床に優れ、かつ豊かな人間性に裏打ちされた医療人を育成する」という建学の精神のもと1973年に設立され、今年で創立41年目を迎えております。現在も7人の創設者が志した「臨床重視」の考えを基本とし、卒業生の皆様お一人おひとりが築いてこられた学園の伝統を継承すべく、教職員一同、日々取り組んでいるところでございます。

そして、2014年度、さらなる発展をめざして約2年間の準備期間を経て、「第1次中期計画」を制定し、目標達成に向けて動き出しております。その取り組みの1つとして、卒業生のネットワーク作りの強化、卒後研修等、卒業生の皆様との関係性をより深めていくことを掲げています。

これからも「医療現場で成長し、活躍する人材を育成する学園」として、持続的発展を追求し、社会から高く評価される学園を目指していきます。

学園が、より一層大きく発展するよう、さらなるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



校友室からご挨拶

森ノ宮医療学園に新部署「校友室」ができました。卒業生団体の「校友会」とは違った立場でなおかつ協調的に皆さまのお役に立ちたいと考えます。設置目的は学園とその他団体や卒業生との窓口となり双方の声を少しでも互いに届け、共に成長することにあります。卒業生ご自身のことのみならず、ご家族やご友人のことを含めご相談等があれば「校友室」にお声がけいただければと思います。

今後の活動の1つとして、本校ではスポーツ活動現場にて競技者のケア・キュアなどをボランティアでサポートすることに興味をもつ方々の実態を後日情報収集したいと思っています。

この事についてご質問やご意見のある方は、
koyukai@morinomiya.ac.jpまでお気軽にお声かけください。
(森ノ宮医療学園校友室担当:房前素徳・北村知子・初瀬川初雄・森川卓)

校友会から

1 クラス会助成金について

校友会会員が校友会同窓会やクラス会を開催する場合、開催費用の一部について補助を受けることができます。補助を受ける場合は、年度予算がありますので必ず事前にお知らせください。koyukai@morinomiya.ac.jp 校友会総務:房前素徳まで

2 「校友会鍼灸室」の存在をご存知ですか!?

校友会鍼灸室は卒業生支援の一環として設置した時間貸し施術所です。
校友会会員であり、はり師及びきゅう師の免許を取得されている方であれば、簡単な登録で使うことができます。また卒業後の開業等についてのご相談も随時受け付けていますので、皆さんどうぞご利用ください。

活用例	●出張・往診を主体としているが、来院を希望する患者さんへの対応として。 ●卒業後の友人と鍼灸治療の練習場所として。 ●開業準備の期間、一時的に使用したい。 ●他院に勤務しているが、知人や個人的に診ている患者さんを治療する場として。	
登録方法	登録には以下の必要書類を提出してください。即日利用することも可能です。 1.利用申請書 2.誓約書 ※1,2の用紙は校友会鍼灸室に設置。ホームページからもダウンロードできます 3.鍼灸賠償責任保険加入済み証明書のコピー 4.運転免許証・健康保険証・パスポート等のコピー 5.はり師・きゅう師免許証(原本証合されたコピーを2部) ※コピーの際は証書全体をコピーしてください(縮小可)。 ☆上記1.~5.の書類を提出してください。提出に際しては、事前に下記管理担当者へ連絡をお願いします。	
利用規定	●鍼灸室利用可能時間 平日9:00~21:00 土曜日 9:00~16:30 日曜日9:00~17:00 ●休日 不定休 ●利用料金 登録料:無料 利用料:患者さん1人につき300円	

3 校友会新企画 鍼灸部会主催『校友会鍼灸室勉強会』のお知らせ

「校友会鍼灸室勉強会」の開催日時が決定いたしました。《臨床家による臨床のための勉強会》です。この勉強会は上記の校友会鍼灸室使用登録者対象です。事前登録が必要です。詳細・問い合わせは下記まで。

4 森ノ宮医療学園校友会交流会のご案内について

毎年恒例の森ノ宮医療学園校友会交流会を今年も下記の要項にて開催いたします。卒業生の皆様におかれましては、お忙しいとは存じますが、年に1度、同窓生、教職員が会える機会ですので是非ご参加ください。

専門学校	大学
日時:平成26年11月1日(土)18時~(17時30分受付開始) 場所:ホテルニューオオタニ B1階 宴会場「アイリス」(予定) ※参加人数により変更となる場合がございますので予めご了承ください。 申し込み方法:同封の返信用FAX用紙にて下記の期日までに送信ください。 【専門学校】FAX:06-6973-3133 申し込み締め切り:平成26年9月15日(月)必着	日時:平成26年11月2日(日)18時~ (17時30分受付開始) 場所:メディカフェ(予定) ※参加人数により変更となる場合がございますので予めご了承ください。 ☆詳細と申し込みはメールにてお知らせいたします。
予告	来年度(平成27年度)より専門学校の交流会の開催日は、大幅に変わります!!詳細は次号にてお知らせいたします。

住所・連絡先・勤務先が変わったら…

専門学校卒業生の方はHP上で登録内容の変更が可能です。 [登録内容変更QRコード→](#)

HP ▶▶ 卒業生の方へ(校友会) ▶▶ 登録内容の変更 (詳しく見る)

尚、大学卒業生の方は大学鍼灸学科・大月までお知らせください。(TEL 06-6616-6911)
<https://www.morinomiya.ac.jp/koyukai/member-change.php#ContentWrapper>

問い合わせ・連絡先

所在地:大阪市東成区中本 2-5-41 森ノ宮医療学園専門学校 アネックス校舎
TEL **06-6976-6000** / 管理担当:伊藤圭人

※管理人在室時間:月・水・金:14:00~16:00(祝祭日除く)

■ ホームページ / 校友会鍼灸室 <http://morinomiya1973.web.fc2.com/>

■ e-mail : koyukai@morinomiya.ac.jp

♪鍼灸室WEBサイトがリニューアルいたしましたので併せてご覧ください。



1期2期3期生、 「大阪鍼灸」草創期を語る



前列左から曾炳文さん(2期昼間部)・西崎泰清さん(同)・奥田功さん(1期夜間部)・藤川直孝さん(同)・後列左から三木完二さん(3期昼間部)・浜田暁さん(3期夜間部)・尾崎明文さん(同)

入学の動機

尾崎 森ノ宮医療学園専門学校は、前身の大阪鍼灸専門学校開学から今年で41年が経ちます。私も3期生で、草創期を知る者ですが、私も含めて皆さん入学時は好青年でした。入学の動機はどうだったのでしょうか？
藤川 幼馴染の河内明先生に勧められたのがきっかけですね。東洋医学への関心は…特にあったわけではなくて、自分でも今があるのが不思議です。
奥田 僕は放送局勤務で、仕事上で悩んでいたときに、資格を取ってみたいということで大阪鍼灸を受験したわけです。鍼灸治療は受けたことはあったけれど、東洋医学ってよくわからない状態で、実際に入学して臨床を経験するようになって面白さがわかってきました。
西崎 私は薬学部を出て、製薬会社で営業をやっていたわけですが、薬で病気が治せていない現状と、日中国交回復で中国の針麻酔がクローズアップされたことで、鍼灸学校を探しました。非常に勉学に燃えて入学したので、学生生活は楽しかったですね。
曾 僕は土木設計の仕事に就いていましたが、針麻酔を知って鍼灸は面白いなあ、機会があったら勉強したいなと思っていたのです。ちょうど大阪鍼灸が開設されるのを新聞で知って、試験を受けました。新たに勉強をしたいと思って入ったので、その頃の意気込みはすごかったと思いますね。



浜田 私は病院で働いていて、何か医療資格を取らなきゃいかなんと入学したわけです。実際に入学すると、東洋医学は最初訳がわからず、あまり馴染めなかったですね。
三木 建築の構造設計関係の仕事で手ごたえが持てずにいて、東洋医学は理論もあるけど実際的にもあるということで飛び込んでみようと思ったわけです。針麻酔については全く知らなかったですね。

素晴らしい先生方が集まっていた

尾崎 まず授業や先生方の印象から始めましょうか。
西崎 当時は決まった教科書がなくて、教えにえられる先生もドクターが多かったので、専門的でレベルの高い本を使われて、試験範囲も広がったですね。
曾 入学して間もなく出版された『痛みの針灸治療』(医道の日本社)に、清水千里先生、三木健次先生、森秀太郎先生、米山博久先生等、大阪鍼灸の先生が執筆されていてすごいなあと思いました。現代医学の教授陣とともに本当に素晴らしい先生方が集まっていて熱心に指導していただいて大満足でした。時々には授業を抜け出して西崎先生たちと遊んでましたけどね(笑)。
三木 解剖の藤原知先生の話、鎌倉勝夫先生の生理学が面白かった…どちらかというと西洋医学的なもの、自然治癒力というものにだんだん惹かれていった感じですね。
藤川 米山博久先生はすごい先生でした。講義録なしで理路整然とした講義に感激しましたし、「〇〇字にまとめろ」と宿題を出されたのは良い勉強になりましたね。それから私の鍼のベースは鍋島匡鎮先生です。治療も受けましたが、基本的に単刺で心地のいい、安心して任せられる鍼で、そんなに強く響かすことはなかったです。これは絶対捨てられないですね。
西崎 鍋島先生が鍼の名人という話だけは聞いたことがあるけど…。
奥田 鍋島先生の実技はほんとうに厳しかったですね。試験は一人ずつ受けるのですが、午後6時から始まって終わるのが大体夜の11時でした。
浜田 清水千里、三木健次先生も恐い先生だった。鍼を持っていると、「そ

んな持ち方あるかー!」って、パチンと手を叩かれて鍼が飛ぶ。まあ、そやけど心は優しい先生だったけどね。愛があって。実技は厳しかった。
西崎 3年昼間部の臨床実習のデモンストレーションのモデルをしたときに、上級生にこっそり間違った取穴部位を教えて、清水千里先生に「そんなんで国家試験が受かるか!」って怒鳴られてどうしようかと思いましたね(笑)。それから花谷正男先生ですね。鍼の打ち方が上手でした。
三木 手品やっているみたいだね。
西崎 それから米山博久先生ですね。在学中に代田文誌先生、石川太刀雄先生が亡くなったんです。その話を講義の最中にされたときの沈痛な面持ちが印象に残っていますね。本当にがっかりされていて…。
奥田 米山博久先生の鍼はきつかったですね。首が痛くて治療してもらったら、強くてびっくりしました。
藤川 それから森秀太郎先生の手つきもカッコよかったですね。
尾崎 大阪鍼灸に入ってよかったのが、鍋島、三木、清水、田中の各先生方の鍼を実際に受けられたことですね。真綿で触られているような手の感触はすごいなあ、これが臨床家の手かと思いましたね。あの感覚は忘れられないです。
奥田 押し付けでなく柔らかな感じで、気楽に話げできた。にぎやかにしゃべっていると、恐い先生がやって来られて怒られる、そんなパターンでしたね。
浜田 どの先生も教えることに熱心だったですね。臨床については、具体的に事細かく教えていただいたので、卒後も非常に参考になりました。残念なことば、僕ら勉強をあんまりせんかった。1期生は特にね(笑)。

熱い脈診・経絡論争

西崎 大阪鍼灸は、経絡学派ではなくて皮電計に始まる西洋医学的な診断を基本とする学校でしたから脈診とかはほとんど教えてもらっていないです。
曾 昼間部と夜間部では先生が違っていただけだね。米山博久先生の治効理論の講義は迫力ありました。
浜田 米山先生は経絡否定論だったから。経絡は覚えんでいい、って。論争もされていました。僕は福本憲太郎先生に「脈診30年」、マスターするまで30年って言われた記憶があります。寸間尺とか格好だけは習ったけど、わかる部分もあるけれど、違いがわからなくて、結局諦めた。
奥田 僕は脈診の講習会に行って、3人目に当たったら「もう脈が変わっている」って言われて、もうあかんわって、脈診は止めたんです(笑)。

多種多様の勉強会

西崎 大阪鍼灸は“7人の侍”言われるように7人の臨床家でできた学校で、先生方各々が勉強会を開いておられて、どこの勉強会に顔を出しても怒られなかったし、熱心に教えてもらえてラッキーでしたね。特に清水千里先生はご自身の赤馬堂鍼灸院で「あゆみ会」という勉強会をされていて毎回、緊張したけど、非常に勉強になりました。
曾 森秀太郎先生は針麻酔の研究会をされていたようですが、学内でも学生たちを集めて針麻酔の研究会を作られていて、僕もそこに入って勉強させていただきました。
三木 私は卒業してから入れる「真泉会」という勉強会に入ったんですが、清水千里先生、田中昭三先生、三木健次先生が主宰されていて、本校研究科^{*}では教えられていたのに本科学生にはなぜ教えてもらえないかと思っていたんです。あとでわかったのですが、教員免許との関係があったんですね。
尾崎 当時は修業年数が2年半でしたが、その中で習得できるものは限ら

れているから、いろんな勉強会や研究会に参加しなさい、多くの中から自分に合ったものを決めたらいい、という考えでしたね。
藤川 その伝統は今も受け継がれていて、今も学校の掲示板にはいろんな勉強会の案内が張り出されています。これは本当に珍しいですよ。
浜田 他の学校では古典以外は認められないというところもつい最近まであったようですね。

“臨床の森ノ宮”を創った臨床家たち

尾崎 「臨床の森ノ宮」の源が草創期にあると思いますが、私の記憶では三木健次先生はやっぱすごかったですね。友人は先生の授業を全部ノートに採っていて、それは財産だと言っていました。
三木 戦中戦後、医者も薬も少なくて、鍼灸は生死の境にある人々の治療からいろんなことができた。そのときの蓄積があったのですね。
藤川 戦争中に、もぐさがないから代わりにポケットの中のクズ綿を使って足三里にお灸をすえて行軍が続けられた、という話も聞きましたね。
浜田 衛生兵とかが野戦病院などでいろんな患者さんを鍼灸で治した話は、戦後に発行された「赤本」に詳細に書かれていて非常に役に立ちますね。
三木 私が聞いたのは、「鍼灸は医療なんだ」、「鍼灸で治せる病気はいろいろあるんだ」ということですね。先生たちは鍼灸の良さを熟知されていた臨床家だったから、教科書にはこう書いてあるけど、臨床ではこうなんやと言えた。清水千里先生が、代田文誌先生から手を取って教えられたツボが、学校で教えられるものと若干違うことがあって、当時はどうしたらいいか混乱しましたね。今になると、いろんな引き出しがあっていいんだとわかりますが、未熟だったんですね。
尾崎 脈診で、福本憲太郎先生と田中昭三先生が教えられることが全然違うんですね。今の学生だとどっちが正しいのか!と言うでしょうが、当時の学生は余裕があったから、そんなにカリカリしなかった。
三木 それぞれの主張があったんですね。それぞれ比重は違っても、先生方は皆、触って感じるということに重きを置いておられた。師匠の三木健次は現代派的な見方をしていたけど脈は診ていたし、清水千里先生は脈診だけでなく腹診や背診など多角的な所見をされていた。他の先生方も表面だけ見ると一見全然違うやり方の方のようにけど、それなりにこだわりをもっているところを、それが今やっと思いがつくようになってきましたね。
奥田 ただ、手を取って教えてもらうというのはあまりなかった。「見ておきなさい」「盗みなさい」「自分で考えなさい」。それが多かったですね。
三木 見学も断られる所が結構あったけど、大阪鍼灸の先生方は「見てもいいよ」が多かった。でも、見てわからない…ツボはわかって。森秀太郎先生から試験で「中封を取りなさい」と言われ、著書にあるところを取ったら「違う。臨床上はこやう」と。それを教えるのが大阪鍼灸だと言われました。僕



▲ 花谷正男・清水千里・田中昭三・三好トミの各先生(右より)

もそれがわが校で教える者の誇りと思っていましたね。
尾崎 そうですね。政岡忠先生からも、合谷を取ると「違う!こ」って1.2ミリ違うところを指摘された。でも私たちからすると一緒に見えるんです。そういうのも臨床家だったからですね。私たちは個性豊かな先生に出会っているいろいろ変わっていったわけですね。
西崎 開業後に刺鍼のときに内出血することが多かったから花谷先生に相談に行ったんです。そしたら「それ押し手が弱いからや」って。それで押し手をしっかりしたら内出血は少なくなりましたね。それからいつも「最初から弱刺激でいいんやで。強い鍼をしちゃあかんよ」って言われていましたね。弱くても効くのがやっとわかってきました。
三木 初心者の頃はつい強い鍼になっていた。松林康子先生にも「強すぎる。半分くらいにしておきなさい」と言われて、その時は「そうかなあ」というくらいしか思わなかったですね。

真摯に治療に向き合って自信がつく

三木 浜田先生はどれくらいの段階から自分ではできるようになった、あるいは

は周りから治療ができるようになったと言われるようになりました？
浜田 僕自身は卒後3年くらいかな？ 最初はどこに鍼を刺していいかわからなくて勉強しながらでした。当時は病院での鍼治療が珍しくて、針麻酔の影響もあって、脳卒中後遺症とか難病など多くの患者さんの治療をさせてもらったのはよかったと思いますね。卒業後すぐに開業する同級生たちはそれこそ必死で授業を受けて放課後も練習していました。
藤川 私も9年の病院勤務で、いろいろな患者さんを診せてもらいました。開業して30年ですが、治せなかったら患者さんは来ない。これははっきりしています。
浜田 長く治療に携わってたくさん患者さんを診ていったら上手くなる、そういう意味で治療に真摯に取り組んできたと思いますね。それが一番ですね。鍼灸が営々と今日まで続いているのは、そういう治せる力があるということだから学生さんや若い人たちも簡単にあきらめないでほしいし、臨床の中で教えられることは教えようと思いますね。
三木 治りきらなくても治療したら変化するというのは伝えていかなくてはいけなんでしょうね。標準的なやり方でもできて、さらに独自の手法も加味できるというバージョンも持っている。60歳70歳それぞれの味わいが出てくる面白みがありますね。
奥田 それに患者さんに支えられているという部分がある。僕のところに開業当時から来られて今年101歳になる患者さんがいます。足腰は衰えてきますが、頭ははっきりされているし。そういう意味では健康管理というかね。鍼灸の良さはそういうところにもあるでしょう。
藤川 私も患者さんに「わたしより先に死なな」と言われます。
三木 私のところにも85歳の琴三味線の御師匠さんが来られているんですが、正座できなかったのが座れるようになる、そういう患者さんのエネルギー、やる気に私らがひっぱられているというか。悪い所は治って、健康管理的に来られている。だんだん衰えて来られるのも診ながらね。
曾 鍋島匡鎮先生に教えられた「気持ちいい鍼が打てること」、そして森秀太郎先生のおっしゃった「芯みたいなところを見つけ、そこを当てられるように練習しなさい」、これらが鍼の基礎になるかなあと思って修得に努めました。治療の理論は、いろいろなことを試してやってきましたが、しっかりマスターできたとは言い難いのですが…。

これからのこと…

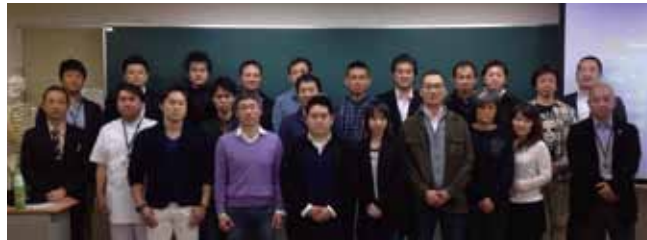
西崎 患者さんに寄り添った医療をがんばっていきたいと思います。しんどいですけどね。
奥田 僕も70歳を越えちゃったんで、101歳の患者さんがお見えになる限り健康管理をさせていただきたいですね。ほかの患者さんも高齢化していて、どっちが先かわからないから、若い先生を探してもらって。ぼちぼち引退を考えたいと思っています。そんなこの頃です。
三木 20年ほど前に臨床心理的な勉強をしたのを最近やり直したのですが、自分も治療も悪いところを治すというより良い所を引き出す。自分もしっかり人に元気を与えられるような治療をやって行きたいと思いますね。
藤川 よい治療家になるためには鍼を受けないとダメだと思いますね。人の身体を触ると言うのは、自分のからだを患者に投影させていると思いますね。よく学生さんが言う「元を取る」というのは30年、50年やって辛抱して長く続けるということじゃないかと思いますね。
曾 医学的な基礎知識を常識としてしっかり身につける必要があるかなと思いますね。僕の経験で良かったのは「きょうの健康」というNHKのTV番組ですが、一流の先生方が疾患別に詳しく解説していただけるので、メモをずっと取りました。そういう基礎知識を身につけた上で、それと自分の技術を結びつけて日々の臨床に生かすことが大事ななあと思います。
尾崎 私は18歳で入学したので、先生や同級生から技術もさることながら社会勉強もさせていただきました。私も学生に個性のある素晴らしい先生方がおられたことを伝えて行きたいですね。
三木 最近気になることは、心身不調な学生さんが結構おられることで、鍼を受けるまでいいかない人がいて、足三里など太極療法の灸を据えてほしいですね。
尾崎 体験したことは重要ですね。説得力があります。(了)

※研究科：有資格者がより実践的にスキルアップするためのクラス。

同窓会だより

卒後10年、授業を再現!

専門学校柔道整復学科第2期屋間部 伊黒 浩二



卒業後10年を記念して同窓会を開催しました。まず、専門学校で川畑先生に授業を行っていただき、教室や先生方の当時の雰囲気懐かしむ一方、最新の医療事情を聞くことができ、有意義な時間となりました。その後、場所を変え、お酒を酌み交わしながら昔話に花を咲かせ、また最近の動向など情報交換することができ、笑いの絶えない楽しいひと時を過ごしました。卒業以来の顔ぶれもあり、明日からの臨床に大いに役立つ良い刺激になった同窓会でした。

参加者 21名
参加いただいた先生方 吉川 徹先生・川畑浩久先生・小笠原宏之先生

5期生、富山に集合

専門学校鍼灸学科第5期屋間部 森永 文夫



去る1月、富山県氷見市の民宿「ひみのはな」に5期同窓生が集まりました。ゆっくと冬の味覚に舌鼓を打ち、話題満載で談笑し盛り上がりました。翌日は富山を観光し、有意義な時間を過ごしました。

参加者 10名

第3回開催に向けてプレ同窓会

専門学校鍼灸学科第11期屋間部 富永 礼子

卒業後数年時に第1回を開催以来、行わずに現在にいたった同窓会。第2回目を開催すべく手分けしてクラスメイトに連絡を取ったものの、大半が出席不可能という残念な結果となりました。そこで、去る1月、今回は第3回開催に向けて計画・検討ということで集まりました。今回、住所確認不可で連絡できなかった皆さんにも準備万端整えてご案内する予定ですので、ぜひご参加をお願いいたします。



参加者 4名

卒業生として母校を盛り上げていこう!

専門学校鍼灸学科第15期夜間部 入江 浩正



去る11月、大阪・京橋「村さ来」に同窓生12名が集まりました。今回で2回目となった同窓会で、卒業以来24年ぶりに再会できたクラスメイトもあり、互いの近況を報告し合いながら懐かしさと過ぎた歳月を感じつつ楽しいひと時を過ごしました。今回、残念ながら参加できなかった方から次回はぜひ参加するとの連絡ももらっていますので、数年内に3回目を行いたいと思います。今後も卒業生として母校を応援し盛り上げていきましょう!

参加者 12名 **参加いただいた先生** 尾崎朋文先生

アドバンスコース、5年ぶりの再会

専門学校鍼灸学科第34期アドバンスコース 山崎 真輝

去る2月、卒業後はクラスメイトが一堂に集まる機会も少ないなか、10名の仲間と恩師の先生方にも参加していただき、食べて飲んで懐かしい楽しい時間を過ごしました。特に、先生方のお話に耳を傾けていると、まるで学生時代に戻ったかのように、思い出も蘇ってきました。今回、参加できなかった皆さんも次回は参加していただき、より楽しい同窓会にできればと思っています。



参加者 10名
参加いただいた先生方 尾崎朋文先生・森優也先生・松熊秀明先生

10周年記念、2つのサプライズ!

専門学校鍼灸学科第29期屋間部 佐藤 啓二



卒業して10年を記念して、大阪・箕面のホテルで1泊2日の同窓会を開催しました。30名のクラスメイトが集い、ほとんど寝る間を惜しんで、10年分のそれぞれの人生を語り合いました。またこの日のためにサプライズを2つ用意し、在学中からお世話になった森優也先生に感謝の花束贈呈、さらに当日が誕生日という向井陽子さんへフルーツホルックをプレゼントしました。次回は卒業20周年を行う予定です。

参加者 30名 **参加いただいた先生** 森優也先生

大学卒業後2年。治療現場や思い出を語り合う

大学鍼灸学科2期生 橋本 優香

大学卒業2年が経ったこの春、クラスメイト32名、さらに4人の恩師の先生方にも参加いただき、日ごろの臨床現場での治療について、また学生時代の懐かしい思い出話などで大変盛り上がり、有意義な時間を過ごすことができました。4年間をともに過ごした仲間との時間はあっという間でしたが、お互い刺激し合い元気をもらうことのできた時間でした。いつまでもこのような時間を大切にしていきたいと思います。ご参加くださった先生方には心よりお礼申し上げます。これからもご指導ください。



参加者 36名
参加いただいた先生方 尾崎朋文先生・坂本豊次先生・松熊秀明先生・辻涼太先生

「生涯現役」を目指して、鍼灸師の道を決断。



白石 哲夫さん

森ノ宮医療学園専門学校
 第29期鍼灸学科屋間部・第3期柔道整復学科夜間部卒業
 しらいし鍼灸・整骨院 鍼灸師・柔道整復師

企業を早期退職し一念発起

専門学校入学時は51歳でした。実は一浪です。当時は企業で生産の技術管理や製品の品質管理をする部署の化学系エンジニアでした。1年目は仕事を続けながら夜間部を受験しました。組織で働くことは嫌いではないのですが、上下関係のない環境でやっていきたいと思ったのです。それに会社員の場合、働けるのは65歳が上限でしょう。父は80歳まで現役で仕事をしていましたから、僕も同じように何かしら自分の居場所を作っておきたいという気持ちもありました。とはいえ妻には大反対されました。子どもたちも大学生で、学生の4年間は無収入になるわけですからね。でも、結局は私の意見を承諾してもらいました。

活気あるクラスで刺激し合い

鍼灸学科第29期屋間部クラスは、鍼灸を学ぶことにエネルギーがみなぎった方々がたくさんおられて、刺激的な環境でした。クラスメイトには当時、既に開業されていた佐藤啓二さん、現役歯科医の三上淑子さん、今、後進の指導をしつつ学会発表を積極的にされている中村真理さん、本校教員になられた朝倉智仁さん、向井陽子さん、今年医学部入学の中北潤さん…思い出深い方々です。記憶力の点では勉強は大変でしたが、辛くはなかったですね。先生は学生の質問に答える義務があると思って疑問はどんどんぶつけました。楽しかった思い出では、文化祭で作った金正勲さん直伝の本格的中国水餃子ですね。大盛況でした。

鍼灸は年月を掛けただけ自分の力になる

来院される患者さんは、鍼灸治療では8割が女性で、鍼もお灸も初めての方が口づてで来られます。整骨治療ではやはりスポーツをしている学生さんや男性が中心ですね。鍼灸治療では1人の治療時間は1時間ですが、それ以外にリラックスしていただくためにウォーターベッドマッサージなどをしてもらうのでトータルで約2時間。保険診療は別として、ゆったりと時間を使っています。

今、鍼灸師になって10年目ですが、鍼灸は、自分にそれに費やした時間だけのものが返ってくると思います。到達するところは奥が深くて、20年、30年後には少しずつでも知識や技術や経験が増え、力がついて、今はできないことが可能になっていき、80歳のときにはもっと上手くなっていると思っています。

今、マラソンと仕事でベストな環境

マラソンは59歳のときに、治療に通ってこられていた女性の患者さんに誘われて始めました。その方も60歳定年から始められていて、東京マラソンと一緒に走りました。それ以来、マラソン仲間の輪ができ、レースにエントリーしないときは、ボランティアで選手のケア側で参加します。それから旅行ですね。“上手く死ぬ”ために、仕事も遊びも精一杯やる。11カ月働いて1カ月遊ぶ…これが理想ですね。この10月26日の大阪マラソンにも出場します。



ご夫婦で二人三脚。



しらいし鍼灸・整骨院

住所 〒790-0866 愛媛県松山市永木町2丁目2-3
電話 089-906-8731
ホームページ <http://wwwb.pikara.ne.jp/haruko1>

目指す理学療法士の道を歩み始めて1年。やりがいを感じる毎日です。



平川 正彦さん

森ノ宮医療大学第4期 理学療法学科卒業

社会医療法人 景岳会 南大阪病院

診療支援部 リハビリテーション科 理学療法士

身近にあった病院

今はもう完治していますが、子どものころは小児ぜんそくで入退院を繰り返していたので、無意識に病院で働きたいという気持ちが根底にあったように思います。何とか身体を動かせるようになって中学～高校のクラブの仲間とバスケットのクラブチームを作って活動をし、そのときの仲間が骨折等で理学療法士の先生にお世話になっているのを見聞きし、やりがいのある仕事だと思ったことが、目指した直接の理由です。

大学では基礎や姿勢を教えてもらった

大学では4年次の臨床実習は春期に2カ月、秋期に2カ月、計4カ月あります。決められた病院に1人で行って実習内容をレポートにして先生に提出しチェックしてもらい書き直して再提出。2カ月間毎日です。就職活動、アルバイトと並行してフル稼働でした。それは今、振り返ると、財産だと思います。病院現場と大学の先生方に自分の考えを評価していただき、理学療法士としての考え方、治療の進め方を教えていただきました。

「自由」と表裏一体の「責任」

学生時代と違うのは、自由さと責任の重さですね。学生時代は、気づかなかったですが、臨床実習では先生方に囲われた状態で、患者さんも学生だと思ってそれなりに接してくれますし、行動や考え方のすべてを



チェックしていただきました。病院では治療内容を先輩方へ報告していたのは入職してしばらくで、今は担当の患者さんのリハビリテーションのメニューを自分で考えて、積極的に動いていかないと何も進んでいきません。先生方にも動いていただけません。そのためには患者さんの疾患はもちろん、状態を常に把握し検討する必要があります。やはり、毎日患者さんをみていると変化が感じられず手詰まりになることもあって、そんなときは先輩と一緒に治療をしてもらいます。そこで以前より「(障害が)改善している」と評価してもらうと嬉しいですね。自分に自信を持つことができます。

成長していくのに最適な職場環境

「とにかくなんでも聞く」が基本です。先輩方が質問しやすい環境を作ってくれていることもそうですが、毎週勉強会が開かれて、先輩方の症例発表から知識が増えて、臨床としてより細かく専門的な治療ができるように少しずつなってきたように思います。それからリハビリ面談では、ご家族、担当医、理学療法士、ヘルパーさん等が集まって担当の患者さんの状態から、リハビリ内容、退院後の生活全般を話し合います。理学療法士として成長していける環境だと思います。そんな素晴らしい環境で仕事ができてよかったです。

これからは同じ理学療法士として

「4期生は仲が良い」。先生方からそう言われます。たしかに大学祭ではほぼクラス全員でダンスをしたり模擬店を出して盛り上がりました。皆が同じ理学療法士を目標に進んでいるのが大きかったでしょうね。まだ、卒業1年目なので、皆で集まっても仕事の相談というよりも学生時代のことなどワイワイ話をするだけです。これからは同じ仕事をする仲間として、それから先生方とも同じ地平に立って多くの話ができたらと思います。

今、まさに4年生は臨床実習や就職活動中かもしれませんが、しんどいと思いますが、その先にはやりがいのある仕事が待っています。僕の座右の銘「冬は必ず春となる!」で頑張ってください。



社会医療法人 景岳会 南大阪病院

住所 〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋1-18-18

電話 06-6685-0221

ホームページ <http://www.minamiosaka.com/>

森ノ宮医療学園校友会 平成25年度決算報告書 (自:平成25年4月1日 至:平成26年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	予算比差額	備考
前期繰越金 A=a1+a2	58,048,872	58,048,872	0	
普通預金 a1	43,048,872	43,048,872	0	
預け金(学校) a2	15,000,000	15,000,000	0	
収入の部 B=b+c	25,605,000	25,887,796	282,796	
会費 b=b1+b2+b3	25,200,000	25,080,000	-120,000	
入会金・専門学校 b1	9,900,000		-9,900,000	
入会金・専門学校継続 b2	5,300,000		-5,300,000	
入会金・大学 b3	10,000,000		-10,000,000	
その他 c=c1+c2+c3+c4	405,000	807,796	402,796	
交流会収入 c1	100,000	338,000	238,000	
その他(雑収入+雑益)収入 c2	300,000	462,040	162,040	
預金利息 c3	5,000	7,756	2,756	普通利息
未収入金 c4	0	0		
合計 A+B	83,653,872	83,936,668	282,796	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額案	決算額	予算比差額	備考
会報発刊費	2,600,000	2,399,730	-200,270	会報印刷代年2回
名簿発刊費	1,500,000	1,000,000	-500,000	校友会名簿作成料
学園施設補助	1,800,000	1,700,000	-100,000	大学食堂・専門学校購買
通信費	2,000,000	1,288,882	-711,118	会報他郵送代
会議費	500,000	300,000	-200,000	総会、役員会等会議費
慶弔費	150,000	95,618	-54,382	
クラス会助成金	200,000	120,000	-80,000	鍼10期など
卒業式会長賞	200,000	69,300	-130,700	
学生福利費	4,000,000	2,582,550	-1,417,450	学生診療一部負担金
卒後研究費	1,000,000	809,440	-190,560	愛媛研修施設
学術講習会費	3,000,000	1,531,050	-1,468,950	各学校部会で開催
交流会費	1,700,000	1,192,238	-507,762	交流会費用
地域交流会費	500,000	346,400	-153,600	松山
卒業生支援費	3,000,000	2,188,619	-811,381	卒業生支援事業費
校友会員表彰	200,000	0	-200,000	表彰状及び記念品代
役員活動費	900,000	547,344	-352,656	地区交流会役員参加交通費等
雑費	800,000	384,709	-415,291	振込み手数料、事務機器他
未払金	0	0	0	
卒業生祝賀会	900,000	0	-900,000	
校友会文庫	2,000,000	2,000,000	0	
予備費	535,000	0	-535,000	
雑損	0	84,479	84,479	
小計 C	27,485,000	18,640,359	-8,844,641	

次期繰越金 A+B-C	56,168,872	65,296,309	9,127,437	
普通預金	41,168,872	50,296,309	9,127,437	
預け金(学校)	15,000,000	15,000,000	0	
期末未払金	0	0	0	
小計	56,168,872	65,296,309	9,127,437	
合計	83,653,872	83,936,668	282,796	

平成25年度決算書に相違ないことを認めます。

平成26年4月16日(水)

監査役 藤川直孝 印

佐藤正人 印

森ノ宮医療学園校友会平成26年度予算

収入の部

(単位:円)

項目	予算額案
(前期繰越金)	65,296,309
普通預金	50,296,309
預け金	15,000,000
(収入の部)	23,485,000
会費	23,060,000
会費外	425,000

支出の部

(単位:円)

項目	予算額案	
会報発刊費	2,200,000	会報印刷代、取材費等、数回
名簿発刊費	1,000,000	情報調査費管理運営費(積立)
学園施設補助	1,800,000	メディカフェ・購買部
通信費	2,000,000	
会議費	500,000	総会及び役員会など
慶弔費	150,000	校友会会員の慶弔費
クラス会助成金	200,000	卒業生クラス会費等補助金
卒業生表彰(会長賞)	200,000	会長賞及び卒業記念品(鍼灸・柔整)
学生福利費	3,500,000	学生に対する一部助成金等
卒後研究費	1,000,000	卒業生研修活動費
学術講習会費	2,000,000	各部会講習会(大学除く)
交流会費	1,300,000	交流会会場費など(大学除く)
地域交流会費	500,000	九州地区
卒業生支援	3,000,000	卒業生支援事業費用
校友会員表彰	200,000	
役員活動費	1,000,000	地域交流会交通費など
雑費	500,000	手数料・事務機器など
未払金	806,000	単年度収入外計算
卒業生祝賀会	900,000	卒業生数×3000
校友会文庫	2,000,000	単年度収入外計算(2/5)
大学学術及び交流会費	1,000,000	大学単体での活動における一切の支出
予備費	729,000	
小計	26,485,000	

次期繰越金	62,296,309	平成27年度への繰越金
普通預金	17,296,309	
普通預金(施設等備品準備金)	30,000,000	
預金(学校)	15,000,000	奨学金保険金
合計	88,781,309	

森ノ宮医療大学

Morinomiya University of Medical Sciences



平成25年度卒業式・修了式/平成26年度入学式	11
大学経営企画室から	12
学生支援室から	13
大学広報室から	14
大学図書館から/コスモス治療院だより	15
大学院から/MUMSAICから	16

平成25年度大学卒業式・大学院修了式



去る3月13日(木)、平成25年度森ノ宮医療大学卒業式・大学院修了式が、ハイアット リージェンシー 大阪にて執り行われ、ご来賓の方々、保護者の皆様、教職員に見守られながら、保健医療学部96名(鍼灸学科43名、理学療法学科53名)と大学院保健医療学研究科1名の合計97名が巣立っていきました。

式典は校歌斉唱にはじまり、卒業生、修了生にそれぞれ卒業証書・学位記、修了証書・学位記が授与されました。学長式辞では荻原学長より「皆さんの医療人としての成長は、目の前の一人一人の患者様に喜びをもたらすことになり、医学を発展させる原動力となるはずです。そして、人間としての成長は、きっと人生を豊かなものにしてくれるはずです。今日、ここにおられる卒業生の皆さんは、そのポテンシャル・可能性を持っていると信じています。どうか、挑戦する心・探究心・努力を忘れず、勇気と自信を持って医療人・社会人の一歩を踏み出してください。」という言葉が贈られました。また、相互連携協定

を締結している大阪府立急性期・総合医療センターの吉岡敏治院長より「病院は、等しく患者さんが生きることに向かって、人生を再構築する場所でもあります。私達は悲しみの医療から喜びの医療へ、恐怖の医療から愛情溢れる医療へ、絶望の医療から希望の医療へ、を合い言葉に、やすらぎ、よこび、希望の医療空間を病院に作りだそうと努力をしています。社会人となられる諸君が、私達と同一の空間で、少しでも居心地の良いやすらぎの医療空間をつくって下さるようお願い致します。」という言葉が荻原学長代読により贈られ、卒業生はあらためて医療人としての責任をかみしめていました。

送辞・答辞では、かけがえのない大学生生活を振り返りながら、これまでお世話になった方々への感謝の気持ちがこもった言葉が述べられ、とても温かい式となりました。

式典の後はホテルでの祝賀会や本学キャンパスで在学生からの出迎えが行われ、卒業生たちは級友や恩師、後輩と4年間を振り返りながら、にぎやかに歓談していました。

鍼灸学科			
最優秀賞	林	美 琴	
優秀賞	細田	明 菜	
全日本鍼灸学会 会長賞	堀川	奈 央	
全日本鍼灸マッサージ師会 会長賞	江崎	雄 祐	
大阪府鍼灸師会 会長賞	井口	智 弘	
大阪府鍼灸マッサージ師会 会長賞	的 場	満 里	
理学療法学科			
最優秀賞	福島可	南 子	
優秀賞	玉置	英 里	
日本理学療法士協会 会長賞	吉村	麻 未	
全国リハビリテーション学校協会 会長賞	西川	美 希	

平成26年度 入学式

4月1日(火)、ハイアット リージェンシー 大阪において、大学・大学院の入学式が挙行されました。天候に恵まれた春の陽気の中、鍼灸学科68名、理学療法学科68名、看護学科88名、そして3期生となる大学院生7名の総勢231名の新入生が将来への新たな一歩を踏み出しました。

荻原俊男学長は告辞で「他者への奉仕の精神を持つ、品位ある医療人をめざしていただきたいと願ってやみません。教養・知識・科学的思考・技術はもちろんですが、大学での学びの中で、奉仕の心あふれる豊かな人間性も育ててください」と述べました。

また、本学と相互連携協定を締結する大阪府立急性期・総合医療センターの福並正剛副院長や各学会・協会からご臨席いただいた来賓の皆様からのご祝辞を頂戴し、新入生に対して熱い激励の言葉が送られました。

そして、本学の母体である学校法人森ノ宮医療学園の清水尚道



理事長は挨拶の中で「大学での学びは大変だと感じることもあるかもしれませんが、そんな時に思い出していただきたいことは、医療の現場には皆さんを待っている患者さんがたくさんいらっしゃるということです。皆さんは自分自身のために勉強をしているだけではなく、患者さんのためにも勉強しているということを是非、思い返していただきたい」と述べ、高度専門医療職業人としての夢を描く入学生たちの出発を祝しました。

1 みどりと海の咲洲ファミリーウォーキング



緑や海辺の風景を楽しみながら咲洲エリアを歩く「みどりと海の咲洲ファミリーウォーキング」(主催:大阪府、相愛大学、森ノ宮医療大学)が5月11日(日)、さわやかな天候の下で開催されました。相

愛大学をスタートし、ATCをゴールとする3kmと6kmのコース。ATCでは、森ノ宮医療大学鍼灸学科の教員や学生が血圧測定とはり灸体験を行いました。

血圧測定コーナーでは、鍼灸学科の2、3年生がウォーキングを終えた市民の血圧を測定。初めは緊張気味だった学生も気さくに声を掛けてくださる市民の方と話すうちに、次第に自然な笑顔が出るようになり、てきぱきと対応していました。また、ゴール横では鍼灸学科の教員によるはり灸体験が行われました。わずか2時間あまりという限られた時間に計76名が訪れ、大好評でした。

2 平成26年度 市民公開講座「肝炎・肝がん」

6月22日(日)、本年度1回目の市民公開講座が「肝炎・肝がん」をテーマに森ノ宮医療大学で開催されました。オープンキャンパスと同日開催となったこの日は、大学全体が高校生らでにぎわう中、計54名の方がお越しくださいました。

基調講演では、大阪府立急性期・総合医療センターの消化器内科主任部長・井上敦雄先生にご講演いただきました。井上先生は、C型肝炎の治療でウイルスに直接作用する「抗ウイルス治療」の研究が進んでいることに触れ、今後はインターフェロンと「抗ウイルス治療」を併用する方法と、インターフェロンを用いず抗ウイルス治療だけを行う方法とを使い分けるといふ考え方が必要になる、と指摘されました。

また、本学からは鍼灸学科の坂本豊次教授、理学療法学科の前田薫准教授、看護学科の伊津美孝子教授が講演し、消化器疾患の鍼灸療法や肝機能障害のリハビリテーション、看護の立場から見た消化器



疾患について解説しました。

本講座も3年目を迎え、会場にはすっかり常連となった見覚えのあるお顔も目立つようになりました。今はテレビやインターネットで多くの医療情報が手軽に入手できる時代ですが、それでもこうした講座にわざわざ足を運んでくださる方はたくさんおられます。参加者のみなさまに満足していただけるよう、これからも魅力ある講座づくりに努めていきたいと思っています。

平成26年度 市民公開講座の日程

終了 第2回「前立腺肥大・前立腺がん」 8月10日(日)13:30～

	演者	テーマ
基調講演	山口 誓司 大阪府立急性期・総合医療センター 泌尿器科主任部長	前立腺肥大・前立腺がん 一診療の進歩
講演I	吉川 有葵 森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 講師	排尿障害と看護 一おしこのトラブル、一人で悩まないでー
講演II	松熊 秀明 森ノ宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 准教授	排尿障害と鍼灸治療
講演III	上田 喜敏 森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 教授	尿失禁と理学療法

これから 第3回「慢性腎臓病」 11月2日(日)13:30～

	演者	テーマ
基調講演	林 晃正 大阪府立急性期・総合医療センター 腎臓・高血圧内科主任部長	慢性腎臓病一診療の進歩
講演I	西村 千年 森ノ宮医療大学 保健医療学部 看護学科 講師	慢性腎臓病の予防と看護 一透析治療にいたらないためにー
講演II	鍋田 智之 森ノ宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 教授	高血圧と鍼灸療法
講演III	角田 晃啓 森ノ宮医療大学 保健医療学部 理学療法学科 講師	慢性腎臓病と理学療法

学生支援室から

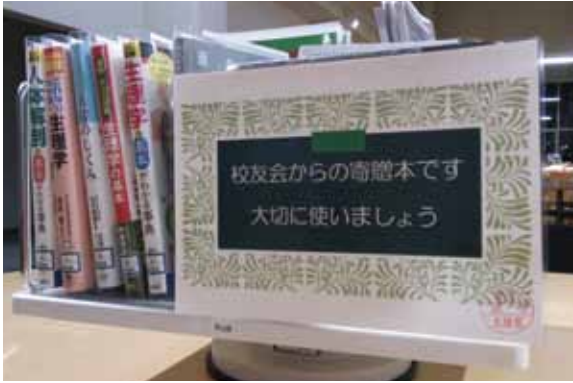
■ 準硬式野球部の創部



このたび、6月19日の教授会での承認を経て、森ノ宮医療大学に初めて野球部が誕生しました。野球は使用するボールの性質の違いから軟式野球、硬式野球、準硬式野球に分けられますが、本学に誕生したのは準硬式野球部です。聞き慣れない方が多いかもしれませんが、大学では全国的に準硬式野球が盛んに行われており、多くの地区リーグが存在しています。本学の準硬式野球部は現在、関西地区リーグへの加入を申請しており、今年度は京阪神IIリーグへのオープン参加が認められています。ここでしっかりと実績を残して加入を認めていただき、全日本大学準硬式野球選手権大会への出場を目指したいと思います。

■ 校友会からの寄贈図書

“学生達が自由に本を手に取り、勉学に励むことができるように”と、校友会より寄贈いただきました図書を東棟1階学生ホールに設置いたしました。「イラストが付いていてわかりやすい」「友人達と相談しながらレポートに取り組むことができ嬉しい」「友人の輪が広がった」等、学生達からは喜びの声が届いています。1冊の本をきっかけに学年や学科の枠を超えた繋がりが生まれ、活発な意見交換を行う等、お互いに良い刺激を受け、より一層学習に取り組んでいるようです。紙面をお借りいたしまして、校友会の皆様方の温かいお心遣いに深く感謝申し上げます。



■ 第8回森ノ港祭(大学祭)開催



今年で8回目となる森ノ港祭を11月2日(日)に開催いたします。今年度は初めて鍼灸学科、理学療法学科、看護学科、すべての学科において4学年揃っての大学祭を迎えることになりました。今年のテーマは「一医専心」です。一途に医療に対して向き合う「心」を大切に、これまで以上に皆様楽しんでいただける大学祭となるよう、学生会や大学祭実行委員会が中心となって



準備を進めております。タレントステージや模擬店、学生による音楽ライブ、大抽選会他、様々な催しを企画しておりますので、お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

開催日：11月2日(日)10:00～16:00
場所：森ノ宮医療大学 南校地他

自治体や医療法人との連携協定

森ノ宮医療大学は、平成26年1月に医療法人協和会と連携協定を締結しました。協和会は兵庫県の南東部や大阪府の北摂地域を中心に複数の病院や介護老人保健施設などを運営しています。今回の協定締結で、本学から協和会への医師・鍼灸師・理学療法士・看護師等の派遣や、協和会による本学卒業生の就職受け入れなどを推進していくことになりました。

一方、自治体との連携も進んでいます。1月には住之江区役所と包括連携協定を締結し、生涯学習の推進や子育て支援、まちづくり等のさまざまな分野で、大学と区役所が連携・協力していくことを確認しました。6月には高槻市教育委員会とも連携協定を結び、高槻市立学校での本学学生の教育実習受け入れや、本学での高槻市の児童・生徒に対する学びの場の提



医療法人協和会との連携協定調印式

供等を進めていくことになりました。

さらに、2月には中国・浙江省人民医院とも学術交流に関する協定を結び、海を越えて研究者・学生の相互交流等を目指していく予定です。

セレッソ大阪スポーツクラブと連携し、イベントを開催

2014年度、本学園はセレッソ大阪スポーツクラブと締結し、森ノ宮医療大学でも少年サッカー大会の共同開催や、育成選手のサポートをする「セレッソ大阪ラボ」の見学など、様々な連携活動に取り組んでいく予定となっています。

その一環として平成26年3月22日(土)、小学生を中心に健全なサッカー少年の育成や、技術の向上とサッカーを通じて友情の輪を広げ同年代の選手間の交流を図ることを目的とした、少年サッカー大会「森ノ宮カップ」を舞洲運動広場で

開催しました。

当日はそれぞれ10歳以下12チーム、12歳以下12チームの選手が熱戦を繰り広げ、真剣かつ楽しそうにプレーしていました。また、本部テントでは「東洋医学で健康相談」や「選手のコンディショニングサポート」等を行ったほか、サッカー部が審判を務めるなど学生スタッフも大会を盛り上げました。

今回は平成26年8月27日(水)・28日(木)に開催します。



1 ブックハンティング

恒例になりました、夏のブックハンティングの開催の様子をお伝えします。

2014年6月29日(日) 15:00~16:30 MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店で開催されました。参加者は合計7名でした。今回も書店のご協力でバーコードリーダーを1人1台ずつお借りして、便利に素早く本を選ぶことができました。初参加が2名いらっしゃったのですが、お二人とも「最初1時間30分と聞いて



長いと思っていましたが、あっという間でした。」とされていていました。今回も楽しい時間となり、本屋さんで実際に本を見て選ばれた本は、選んだ人柄が感じられるようなバリエーション豊かになりました。8月頃にこの本は図書館に並べられる予定です。秋も開催予定ですので、是非校友会の皆様もご参加ください。開催日時については、随時図書館掲示板などでお知らせします。

2 開館時間延長

図書館利用アンケートで要望の多かった閉館時間の延長を含め、今年度から、図書館と閲覧室の開館時間が1時間延長となり、平日は8:00~20:30まで開館しています。仕事帰りに来館される卒業生や閉館ギリギリまで試験勉強に打ち込まれる在学生も見られるようになりました。新しいスタッフも2名増え、今後も、皆様の学修をサポートしていきますので、是非図書館をご利用ください。

※この度、寄贈図書についての規定が変更となりました。ご寄贈を希望される方は一度図書館までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コスモス治療院だより

森ノ宮医療大学 教授・附属施術所所長 仲西 宏元

研修鍼灸師にカンファレンス／全日大会で学生発表

残暑の候、会員の先生方に於かれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

施術所では26年度も5名の研修鍼灸師、3名の大学院生と3年生49名・4年生45名の学部学生を受入れ、臨床教育、臨床研究に励んでおります。今年度から研修鍼灸師には、臨床教育として、担当した患者のカンファレンス(症例検討会)を実施することで、今まで以上の即戦力のある鍼灸師の育成を目指しています。学部学生の教育では、例年通り客観的臨床能力試験(OSCE)を2年生と4年生に導入し、学生のコミュニケーション能力、診断技術、治療技術の向上を図っております。特に4年生では臨床に特化した項目の実技試験を導入し、後期の教育に反映できるようにしています。

さて、去る5月には平成26年度的全日本鍼灸学会が愛媛県松山市で開催され、多くの研究や臨床報告などが活発に行われました。松山ということもあって「お灸」の話が特別講演やシンポ

ジウムなどでなされました。また、今回の発表でも多くの学生ポスター発表が行われ、緊張した初々しい学生の発表を聞くことができました。森ノ宮医療大学の学生発表は「ストレスに対する鍼灸治療の効果」というテーマで、ストレスを唾液アミラーゼで評価し、足三里穴の効果を検討していました。鍼灸治療をすることによって唾液アミラーゼの上昇を有意に抑制したことから足三里穴の抗ストレス作用があるという内容でした。この発表を聞いて、25年以上前に東京で開催された鍼灸学会での私自身の発表を思い出しました。このような経験は二度とできないので、学生には大変素晴らしい思い出になったと思います。また、この発表を機に卒業してからも臨床に励んでほしいと切望します。

今年度もコスモス治療院は臨床、教育、臨床研究を充実していきたいと思っております。それには治療院の知名度を高めることが必要になってきます。今後とも施術所に対しましてご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

大学院から

大学院保健医療学研究科長・教授 山下 仁

森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科は平成23年に開設され、現在までに5名に修士(保健医療学)の学位を授与しました。現在も15名の院生が在籍し、授業の受講とともに修士論文のための研究に打ち込んでいます。研究の内容は基礎から臨床、実験から文献調査まで様々です。専門学校教育や学部教育は国家試験を意識しているので「基礎知識を幅広く」が基本ですが、大学院教育はそのような制限がないので「専門分野を深く」追究することができます。修了後は大学・専門学校就職、他大学院博士課程進学、現職場(社会人院生の場合)でのキャリアアップなどの道を歩んでいます。

今年度は7名の入学生を受け入れました。その内訳は本学学部を今春卒業して入学した3名と社会人4名です。社会人の皆さんは仕事の合間を縫って真面目に授業を受けに来られています。修士論文のための研究活動はそれぞれの指導教員の下で進めていきます。写真は修士1年生の藤井かほる子さんです。本学園が所蔵する長野鍼灸研究所カルテの代田文誌先生の症例を整理・分析中です。

社会人として仕事のかたわら在籍している院生たちには、本学園専門学校を卒業して臨床や教育の現場で活躍しているOBの方々もおられます。彼らは長年の臨床経験にもとづく「手ごたえ」と現在の研究成果で一般的に結論付けられていることとの間に生じている矛盾をよくわかっていることと思います。その矛盾が

なぜ起きるのか、研究方法論が未熟なのか、それとも臨床の手ごたえに誤認識があるのか等々、より深い考察ができることと期待しています。また、学部からストレートで入学した院生にとって先輩社会人との交流は研究のみならず人生の糧となる良い体験だと考えています。

現在、本大学院には鍼灸師、理学療法士、柔道整復師の資格を持つ院生が在籍しています。看護師、助産師などの有資格者や経験者も大歓迎です。多くの異なる職種の医療従事者が集まることで東西医学の融和と補完に関する新しいアイデアやケア概念が生まれる可能性があります。これからも幅広い医療分野の人たちを迎えられるような大学院を目指していきます。



代田文誌先生のカルテを読解中の藤井かほる子さん

MUMSAIC 鍼灸情報センターから

鍼灸情報センター長・教授 山下 仁



本年4月に森ノ宮医療大学鍼灸情報センター(MUMSAIC)が開設されました。所属教員は山下仁教授(兼任)、横山浩之准教授(兼任)、保坂政嘉助教(専任)の3名です。これに加えて国内外の客員講師・研究員の参画を予定しています。MUMSAIC事業の3本柱は、右記の3点です。

1. 鍼灸に関する学術・臨床・マスメディア情報の収集と発信
2. 本学園所蔵代田文誌カルテの調査、整理、および出版
3. 本学園はりきゅうミュージアム所蔵品のWeb発信

情報過多の現代においては、鍼灸についても信頼性や質の高い情報と低い情報が混在しています。また、欧米先進国で行われた優れた研究などの情報は日本の鍼灸界に広まるまでに長い時間がかかっています。MUMSAICは医療界、鍼灸師、鍼灸学校が知っておくべき信頼性の高い最新情報を収集・整理して発信します。また、森ノ宮医療学園はりきゅうミュージアムの臨床・教育・研究に役立つ所蔵物をWeb上で紹介するのも役割です。10月からWebサイトを開設しますので楽しみに。

森ノ宮医療学園専門学校

Morinomiya College of Medical Arts and Sciences



アメリカ研修2014を終えて	18
総務広報課から	19
学務課から	20
森ノ宮医療学園専門学校2015年度 入試日程	21
平成25年度卒業生表彰者	22

アメリカ研修2014を終えて

柔道整復学科 教員 外林 大輔



今年度も毎年恒例となっている柔道整復学科アドバンスコース2年生のアメリカ研修をオレゴン州にあるSouthern Oregon University(SOU:南オレゴン大学)において、6/15～6/27の日程で実施しました。



現地で活躍されているアスレティックトレーナー(AT)の指導のもと、アメリカンフットボールのキャンプ(合宿)見学に始まり、ATの業務内容やその価値について学び、続いて各部位のテーピングや評価法、さらにはアスレティックリハビリテーションなどを

実技も含めて学習しました。ほかにもSOUのチームドクター(Dr. Hal Townsend)による講義では膝関節の手術法などを実際の手術器具に触れながら学んだり、街のPTクリニック*の見学では治療体験や質疑応答をさせていただくなど、学生たちはアメリカらしいユーモアあふれる授業スタイルのなか、自ら質問したり、学生同士



でディスカッションを行い、その結果を全員の前で発表するなど、日本にいるとき以上に非常に積極的に取り組んでいました。

休日には国立公園散策やジェットボートなどのアクティビティーもあり、豊かな自然に囲まれた環境のなか、さらには今年度完成した快適な学生寮を利用できたこともあって、ハードなプログラムの毎日を乗り越え、学生一人ひとりが高いモチベーションとお互いに助け合い思いやる気持ちを最後まで持ち続けた結果、とても充実した素晴らしい研修となりました。



また、今回でSOUでの研修が10回目を迎えたことを記念してセレモニーが行われ、本学からは清水理事長が出席し、SOUからも学長をはじめ多くの関係者に出席していただきました。Japanese Maple(カエデ)の記念樹が用意され、メアリー・カリナン学長、この研修の創始者であるマイク・スティーブンソン氏、そして清水理事長による植樹式を行い、SOUと本学の関係のさらなる発展を約束しました。

最後にこの研修に関わっていただいたすべての方に感謝申し上げ、学生たちには今回得た知識や経験、発見や感動を今後活かしてくれることを願います。

*注:アメリカでは理学療法士がクリニックを開業されていて、規模は小さくまざですが、訪問先は日本の接骨院にとても近い規模と雰囲気です。

総務広報課から

1 一般公開講座「ツボ講座」開催

6月23日(月)、ツボ講座「本当の原因とは?シンスプリント」と題して、スポーツトレーナーとして活躍されている鍼灸学科教員の松下美穂先生が、ハードなトレーニングを集中的に行った後に起こりやすいスポーツ傷害「シンスプリント」に対してのセルフケアの講義を行いました。

前半は、よく似た症状で間違えられやすい「疲労骨折」との違いや、シンスプリントの起こる要因と予防方法を学んでいただき、後半は、脛やふくらはぎの筋肉をほぐすマッサージのコツとお灸や円皮鍼を使って実際のセルフケアを体験していただきました。

本年度のツボ講座は全10回(4月より毎月1回)鍼灸学科の教員が毎回テーマを変え開催いたします。



2 卒業生限定イベント『あの日の授業をもう一度』

常々、多くの卒業生より、「もう一回先生の授業受けたいわ〜!!」「今更聞かれへんこと、現場に出て初めて気づいたこと、などなど…今の状態で新鮮な気持ちで授業を受けたい!!」とのリクエストをいただいていた。

本校の姿勢としての『国家試験合格が通過点』ということからしても、卒業生の方々からの要望に応えることは使命と考えています。現場に出て、患者さんに接してみて初めてわかったこと。初めて疑問を持ったこと。それこそが真の臨床家としてのスタートですから、その時こそ、学校を思い出していただければ…。そう考えています。

そこで、今後シリーズ化(予定?)のイベントとして、もう一度、あの日の授業を受けてもらおう!!という企画が昨年12月に実施されました。



まずは、鍼灸学科(松下先生による「解剖学」)のみでの実施となりましたが、後日、機会を逃した卒業生から次回開催の問い合わせが多数寄せられました。

希望があれば、定期的に開催をしてもいいかな?!と、考えています。鍼灸、柔整各々、リクエストのある方は教務部学務課までご一報ください。

3 「デイリーヤマザキ森ノ宮店」「紀伊国屋本町店」「スーパースポーツゼビオなんばパークス店」での講座開催

おおよそ縁のないコンビニや書店、スポーツ用品店の一角を利用して、本校教員による一般の方向けの講座を開催しています。この企画は、広く「はり師・きゅう師」「柔道整復師」の存在を知ってもらおうという啓発活動の一環として、本校がここ数年来取り組んでいるものです。参加人数は決して多くはありませんが、徐々に申し込み件数は増えていきますので、浸透していつの間には?という手応えは感じています。東洋医学の良さや、柔道整復師の本来

の姿を知ってもらうことで、業界の一助になれば…という想いで、教職員が日夜知恵を絞り出し実施しています。

もう1つの側面としては、専門学校の社会的使命として『産学連携』というのがあります。職業人の育成という本来の目的からすれば自然な流れの中で、一般の方々への認知度を上げていく効果も期待しています。



■ 学務課から

1 就職・転職・アルバイトの相談は学務課へ

就職・転職・アルバイトに関するご相談は、学務課で受け付けております。在校中はもちろんのこと、卒業後の転職もサポートしています。2013年度の有効求人倍率14.09倍、常時500件以上の求人があり、鍼灸整骨院のほかクリニックや病院、デイサービスなどもあります。どの求人も森ノ宮医療学園専門学校の卒業生・在校生だから雇用したいという求人ばかりです。来校での相談だけでなく電話での相談も可能です。お気軽にご相談ください。

2 2014年度「第12回就職相談会」開催のご案内

今年度の就職相談会を平成26年10月5日(日)に開催します。

求人先の先生方にお越しいただき、直接お話をうかがえる年1回の貴重な機会です。8月下旬より求人情報を1階エレベータ前に順次掲示していく予定ですので、備え付けの用紙にてエントリーしてください。求人先の先生には、皆様のエントリー結果をお伝えし、参加をお願いします。エントリー数が少ない場合には、参加されないこともありますので、気になる求人先にはどんどんエントリーしてください。

来年4月からの就職先やこれからの転職先を見つけるための、情報収集の場としても活用してください。また、色々な先生の治療方針などもうかがえるチャンスですので在校生はもちろん、卒業生の皆様も奮ってご参加ください。



日時 平成26年10月5日(日)
11:00～12:30(10:30受付開始)(予定)
場所 森ノ宮医療学園専門学校
アネックス校舎4階

3 求人検索システム『けんさくん』のご案内

今年で6年目を迎える本校の求人検索システム『けんさくん』。仕事探しの強い味方として在校生・卒業生の皆様に支持されて月平均1,399名の方が利用されています。『けんさくん』IDをお持ちの方は引き続き『けんさくん』をご利用ください。卒業生の方で『けんさくん』をご利用ご希望の方は、学務課までご連絡ください。

また、今夏よりけんさくんに加え、卒業生に特化した新しい求人検索システムの運用が始まります。大阪府専修学校・各種学校連合会カスマーセンター、株式会社ユニバーサルサポートシステムズによる求人検索システム『キャリアマップ』です。

利用には<http://goo.gl/JlCg8U>にアクセスし、メールアドレスとパスワードを設定した後に氏名などの基本情報を入力します。すべての情報が入力後、卒業生確認※ができて次第利用可能となります。

※卒業生確認受付時間…平日9時～21時

4 採用ご担当者様対象「医療現場における、採用と定着の秘訣セミナー」開催のご案内

最近、求人先の方から新卒者の採用や定着でお困りの声をよく耳にします。一般的に3年以内の新卒入社者の離職率が、中卒者で7割、高卒者で5割、大卒者で3割と、753現象と呼ばれるような深刻な問題とされています。そんな新卒市場においてよりよい採用を行うため、応募者目線での医院選びから、実際に面接をされる際のポイント、離職を防ぐための定着力の高め方までを、「医療現場における、採用と定着の秘訣セミナー」と題して医療接遇講座をはじめ高校生・大学生就職ガイダンスをされている西岡亜矢子先生をお迎えして開催いたします。

参加ご希望の方は、学務課(06-6976-6889)までご連絡ください。

日時 9月7日(日) 午前10時～12時
場所 森ノ宮医療学園専門学校 **参加費** 無料

講師紹介 西岡 亜矢子

全日本空輸株式会社にて、国際線客室乗務員として9年間乗務。乗務以外にも機内販売プロジェクトリーダーや社内研修インストラクター、新人訓練も担当。
退職後、フリー講師として活動を開始。2004年キャリアコンサルタント、サービスコンサルタント、研修業を主体としたOffice Sorriso(オフィスソッリーゾ)を開設。企業、大学、専門学校などにおけるキャリア研修や、企業への採用支援も行う。
また、マナーやホスピタリティ研修、コンサルティングも数多く実施し、特に医療福祉業界に多くの実績を持つ。離職率の高い業界のため、定着率アップのコンサルティング等も実施している。



5 保育所好評運営中!

本校は、全国でも珍しい学内保育所を設置しています。お子様が同じ校舎内にいることの安心感もあり、子育てをしながら学業に専念したい学生の皆さんに好評です。初回登録を行ったあとは前日までのお申込みで利用できますので、急用時にも便利です。開所から2年、赤ちゃんから幼稚園児までたくさんのお子様利用してくれています。



森ノ宮医療学園専門学校2015年度 入試日程

1 今年度の入試において従来との変更点は、「学内推薦入試」改め「卒業生・在校生入試」と名称変更をし、試験日も通常の入試日程と合わせて設定しました(表-1)。このことにより、年二回しかなかった入試の機会が大幅に増え、校友会の方にも受験しやすい状況を作ることができました。当然のことながら、入学金は免除になりますが、昨年に引き続き今年度も「受験料」は免除(無料)といたしました。

※大学からの入学希望者も「卒業生・在校生入試」の対象者となります。

2 昨年度実施いたしました、卒業生、在校生、教職員の紹介がある場合、入学金が半額になる「減免制度」につきましては廃止いたしました。紹介による入学者が8割近くに上り、実質、ほとんどの入学者が本学園関係者と関わりを持った中で入学してくるという現状に、改めて卒業生の方々の力を実感した次第です。これを受けて、今年度より入学金を昨年度の半額に設定いたしました。これにより、各々コース別の3年間の学納金としては下記(表-2)のとおりです。

試験日	AO入試	高校生入試	社会人入試	推薦入試	医療人入試	卒業生・在校生入試
9/7(日)	●				●	
9/20(土)	●				●	
10/5(日)	●	●			●	
10/18(土)	●	●			●	
11/16(日)	●	●			●	
11/19(水)		●			●	
12/3(水)		●			●	
12/14(日)	●	●			●	
1/18(日)	●	●			●	
1/21(水)		●			●	
1/25(日)		●			●	
2/8(日)	●	●			●	
2/22(日)		●			●	
3/15(日)		●			●	

(表-1)

学科	コース	学納金総額	諸経費	教科書教材費
鍼灸学科	医療資格者	388万円	21.2万円	約9.5万円
	午前	398万円	21.2万円	約9.5万円
	昼間	398万円	21.2万円	約9.5万円
	夜間	388万円	21.2万円	約9.5万円
柔道整復学科	アドバンス	434万円	20.3万円	約12万円
	昼間	398万円	20.3万円	約12万円
	夜間	388万円	20.3万円	約12万円

(表-2)

※詳しくは『入試ガイド2015』をご覧ください。

26年度オープンキャンパスのテーマは「卒後を見せる」

今年度のオープンキャンパスは、昨年度までの、単に「授業を体験させる」のではなく、「卒業後を見せる」という方針で行っています。

少なくとも高校生には、学ぶ内容よりも、将来の自分を見せて、本当にこの選択肢で良いのかどうか、を判断できるようなオープンキャンパスにしようと計画、実施しています。

方針を変更した理由の一つとして、一方の側面として、最近の入試は、選抜の意味合いが年々希薄になっています。それと、本校も以前に比べて、高校からの入学者が増加傾向にあります。それに比例して、退学する人も増加傾向にあります。このことは、入学前の意志によるものではないかと考えています。

次年度の入学確定まで、残り半年ですが、少しでも志の高い人に入ってもらおうと、オープンキャンパスに、高校ガイダンスに、高校訪問に、活動していますので、今後共、入学紹介にご協力をお願いいたします。



平成25年度卒業生表彰者

鍼灸学科第39期

学校表彰

賞 名	クラス	氏 名
最優秀賞	昼間部	北 村 恵 美
優秀賞	午前コース	六 川 真 由 美
特別精励賞	午前コース	篠 原 夏 美
	午前コース	山 上 安 司
	午前コース	山 崎 武 士
	医療資格者コース	原 田 真 維
	昼間部	楠 あ ゆ み
	昼間部	松 元 里 美
	夜間部	浦 田 朋 子
	夜間部	川 畑 玲 奈
	夜間部	小 角 友 希 子
	夜間部	宗 敦 浩
精励賞	夜間部	中 道 博 文
	午前コース	疋 田 尚 子
	午前コース	李 悠 香
	昼間部	梅 村 恵 美
	昼間部	西 田 和 広
	医療資格者コース	尾 崎 朋 子
	夜間部	前 田 拓 水
努力賞	午前コース	前 橋 友 香
	午前コース	吉 岡 海 士 郎
	昼間部	井 上 め ぐ み
	昼間部	佐 藤 由 美 子
	昼間部	Horton Melissa
	昼間部	谷 真 孝
	夜間部	吉 田 聡 美
みどりの風賞	午前コース	寺 地 正 代
	医療資格者コース	油 谷 達 也
	昼間部	山 本 小 百 合
	夜間部	生 駒 晴

団体及び業界からの表彰

賞 名	クラス	氏 名
知事賞	夜間部	井 口 望
東洋療法学校協会会長賞	医療資格者コース	喜 尋 祥 晃
日本鍼灸師会賞	昼間部	松 元 里 美
全日本鍼灸マッサージ師会会長賞	夜間部	宗 敦 浩
全日本鍼灸学会会長賞	夜間部	森 田 英 津 子
大阪府鍼灸師会会長賞	午前コース	加 藤 景 太
大阪府鍼灸マッサージ師会会長賞	昼間部	津 田 和 代
職業教育・キャリア教育財団賞 (旧専修学校教育振興会賞)	夜間部	田 中 博 文
大専各賞	午前コース	井 上 竜 一
校友会長賞	医療資格者コース	本 田 周 作
	午前コース	副 島 香 織
卒業研究賞	昼間部	津 田 和 代
	昼間部	楠 あ ゆ み
卒業研究費(佳作)	午前コース	河 村 佳 奈

平成25年度柔道精励賞

段 位	クラス	氏 名
初 段	アドバンスコース	川 原 敏 幸
初 段	アドバンスコース	菰 島 健 太
初 段	アドバンスコース	佐 藤 潤
初 段	アドバンスコース	藤 宇 卓 巳
初 段	アドバンスコース	宮 川 侑 大
初 段	アドバンスコース	山 田 捺 弥
初 段	昼間部	植 田 隆
初 段	昼間部	川 西 俊 樹
初 段	昼間部	田 辺 学
初 段	昼間部	中 山 恵 美 子
初 段	昼間部	福 永 一 輝

柔道整復学科第12期

学校表彰

賞 名	クラス	氏 名
最優秀賞	昼間部	金 田 宗 博
優秀賞	アドバンスコース	藤 宇 卓 巳
	夜間部	畑 山 享 亮
特別精励賞	昼間部	指 尾 慶
	昼間部	宿 院 隆 史
	昼間部	飛 田 拓 郎
	昼間部	中 野 晴 喜
	夜間部	清 川 智 春
	夜間部	豊 永 佑 喜
	夜間部	永 安 将 大
	夜間部	兵 頭 達 矢
	夜間部	枡 井 悠 貴
	夜間部	三 木 資 子
精励賞	アドバンスコース	松 野 友 香
	昼間部	笠 谷 健 心
	昼間部	成 舞 宏 治
	夜間部	大 束 浩 樹
	夜間部	大 橋 佳 正
	夜間部	真 鍋 卓
努力賞	アドバンスコース	竹 内 伸 吾
	昼間部	小 川 裕 二
	昼間部	小 原 健 太
	夜間部	井 上 雅 也
	夜間部	塚 本 将 隆
	夜間部	枡 井 悠 貴
みどりの風賞	アドバンスコース	岸 野 篤 祥
	アドバンスコース	山 田 捺 弥
	昼間部	文 忠 功
	昼間部	山 口 貴 史
	夜間部	枡 井 悠 貴

団体及び業界からの表彰

賞 名	クラス	氏 名
全国柔道整復学校協会会長賞	昼間部	六 川 真 由 美
	夜間部	近 谷 誠 至
日本柔道整復師会会長賞	夜間部	林 美 穂
日本柔道整復接骨医学会会長賞	昼間部	川 口 正 太
大阪府柔道整復師会会長賞	アドバンスコース	菰 島 健 太
職業教育・キャリア教育財団賞 (旧専修学校教育振興会賞)	アドバンスコース	上 西 隼 斗
大専各賞	昼間部	指 尾 慶
	夜間部	山 根 寛 史
校友会長賞	昼間部	市 川 昌 史

季刊誌「鍼灸OSAKA」113号

特集「原因不明の腰痛を治す」

B5判128ページ 2,097円(税込・送料別)

腰痛はcommon disease(ありふれた病気)と言われます。それを実証するように、国内で推定2800万人がその痛みを抱えているというアンケート結果も出ました。そして、その多くが痛みを抱えながらドクターショッピングしている…。その現実に対して鍼灸は何かできるか? アプローチの仕方は? 本号はその方向性を模索しました。



次号
予告

9月中旬発行予定

114号の特集は「**瞑眩、それとも鍼あたり?**」(仮題)

B5判120ページ 2,097円(税込・送料別)

瞑眩(メンケン・メンゲン)、好転反応、鍼あたり、誤治、オーバードーズ…。治療後に起きる主訴の増悪や体調不良については、治療家によって概念も表現も異なるようです。瞑眩や鍼あたりをどのように捉え、治療のなかでどのように位置づけ、患者さんにどのように説明するかを特集します。座談会「ISO/TC249とモクサアフリカ(仮題)」も掲載。

Now Printing

近 刊 案 内

9月中旬発行予定

フェルデンクライスメソッド
『あごとののための6レッスン』

日本語版:藤井里佳/原著者:F,ワイルドマン
収録時間 1時間25分/2,350円(予価・本体)

顎関節症、頭蓋下顎障害、顔面痛…TMJ(顎関節)に起因する多くの疾患に悩む方々、さらに声楽家等、のどを大切にしたい方々にぜひ試してほしい6つのレッスンを収録しました。国際フェルデンクライス協会公認アシスタントトレーナーの藤井里佳氏による日本語吹き替えで、自宅に居ながら繰り返しレッスンができます。

11月発行予定

テスト形式で理解度チェック
『**経絡・経穴・解剖 セルブラーニング**』(仮題)
(オリジナル&既出国家試験問題収載)

B5判 約140ページ
著者:松下美穂 監修:尾崎朋文/2650円(予価・本体)

経穴名、経絡名、そして解剖に関連付けて覚えることで、身体を重層的に把握でき、しかも穴埋めテスト形式で完璧に覚えるまで繰り返し自学自習できます。専門学校の授業で使用されているテキストをさらにボリュームアップして1冊にまとめました。国家試験対策にオリジナル&既出問題も収載。

新 刊 案 内

『健康で知的なからだをつくる51のレッスン
～からだの気づきで脳が変わる
フェルデンクライスメソッド～』

フランク・ワイルドマン著/藤井里佳訳
181頁 2,625円(税込)

私たちは無意識にからだを動かしています。その時、脳はどうしているでしょう? 生まれたての赤ちゃんは自分のからだの動かし方を脳との連動で一つひとつ学んでゆきます。本書は、そのからだに気づかせる感覚を取り戻すためのレッスンのなかから51を紹介。欧米では発達障害等の治療でスタンダードなメソッドです。



『はりきゅうロード
～日本全国、伝統医療の歴史を見て歩こう』

森ノ宮医療学園出版部編
168頁 2,730円(税込)

歴史から現代が見えてくる一。史跡や現存する史料、民間に伝承されている祭りや行事には実に多くのことが伝えられています。医療の歴史の奥深さと時代の息吹き、聖医の熱意を感じてください。第一線で活躍されている研究者によるエッセイは良きガイドとなってくれます。



『**生きているとは
～看護の本質とこれからの看護～**』

薄井坦子著 38頁 525円(税込)

23年6月、森ノ宮医療大学看護学科開設記念講演会での薄井坦子先生の講演内容を1冊にまとめました。看護師教育に尽力しつつ、「看護とはなにか」を追求されてきた薄井先生ならではの言葉は、看護論にとどまらず、深く生命観や人間論に及んでいます。東洋医学を志す方々へも示唆に富む内容です。



出版部イベント情報

好評の内に無事終了しました!



9/14(日)

フェルデンクライスメソッドCD発売記念講演会
『**患者への向き合い方**』

フェルデンクライスメソッドCD『あごとののための6レッスン』の発売を記念して講演会を開きます。

講演者はCDの日本語吹き替えを行った藤井里佳氏(国際フェルデンクライス協会公認アシスタントトレーナー・フェルデンクライスWEST JAPAN主宰)、『**技芸としてのカウンセリング入門**』(創元社)の著者・杉原保史氏(京都大学学生総合支援センター教授)、牛山美穂氏(早稲田大学高等研究所助教・医療人類学)を予定。藤井氏によるミニレッスンもあります。

●時間 午後12時～4時40分 ●場所 森ノ宮医療学園専門学校 アネックス校舎4階講堂(予定)
※参加費等詳細、お申込みは同封のちらいし 又は
専門学校ホームページ <http://www.mlrinomiya.ac.jp> イベント情報をご覧ください。

■ 治療室におすすめBook

森ノ宮医療大学附属図書館 司書 井上 洋子

『円卓』

西加奈子著／文春文庫
470円(税抜き)少女のユーモラスな
ひと夏

家族が揃いも揃って美男美女、おまけに姉三人は三つ子というどこか現実離れた設定ながら、小学三年生の「こっこ」こと渦原琴子の日常は、いつかどこかに置き忘れてきたような懐かしさが漂う。同級生の「ものもらい」にあこがれたり、「孤独」に酔いしれたり、独特の世界観と価値観の中で生きている「こっこ」は、身の回りで発見した「驚きの事実」を「ジャポニカ学習帳」に記録しているが、姉の不注意で学習帳が行方不明となったことから気持ちの整理をつけにくくなってしまふ。時に反抗し、時に閉じこもる「こっこ」と彼女を熱愛する家族たち。そんな「こっこ」のひと夏の過程が、ユーモラスに描かれる。そしてあるできごとをきっかけに、「こっこ」は子どもながらも「言葉」の持つ真の意味を理解するに至る。それを導いた祖父の言葉が秀逸。同じ団地に住んでいる同級生「ぼっさん」の存在もまたいい。全編の大阪弁も。

■ 治療室におすすめCD

森ノ宮医療大学大学院教授 永瀬 佳孝

『ディズニー・ラブ&バラード ～ピュア』

レーベル ● ウォルト・ディズニー・レコード
収録時間 ● 69分
ASIN ● B00005T0G2
EAN ● 4988064122561

夢を与えるもの

1968年～数年放映されたウォルト・ディズニー自身が出演したTV番組「ディズニーランド」では、毎週「未来の国」「おとぎの国」「冒険の国」「開拓の国」の4つのなかの1つの国に関連した内容が紹介された。どの国かは放送が始まらないとわからず、その時間を期待しながら観ていたのを記憶している。その頃のアメリカは遥か遠い国で、1\$360円であった。その当時ディズニーランドは砂漠の中にあり、アメリカでも裕福な家庭の子供しか行けなかった。今では日本にいても簡単に行くことができる。しかし、当時は夢があった。W.ディズニーは娯楽を与えるのではなく、夢を与えた。それは、苦しいところから逃げる場所でもなく、ただ楽しむだけの場所でもない、現実の中に実現可能な夢であった。たとえば、手塚治虫が彼から与えられた夢は、石ノ森正太郎や藤子不二夫などに引き継がれ、実現されていった。それは漫画の世界だけではなく、音楽も夢であり、ディズニーの音楽は映像がなくても視覚的であった。それは今にも引き継がれているが、現実には何かを与えてくれることが少なくなったように思う。

留学を終えてオーストラリアから帰国する前に『ライオン・キング』を観に行った。予想に反して映画館はからから。その時いっぱいだったのは『プリシラ』であった。『ボートの三人男』のように、三人のノイローゼのゲイがバスに乗ってオーストラリア中を旅している間に様々な問題が解決するという映画である。娯楽だけではより大きい娯楽に勝てないということかもかもしれない。

「モクサアフリカ」活動報告

出版部 織田 浩子



モクサアフリカの伊田屋幸子さん

イギリスの登録チャリティ団体「モクサアフリカ」の在米メンバー伊田屋幸子氏が全日本鍼灸学会シンポジウムへの参加に合わせて来日し、5月13日に森ノ宮医療大学第29回学術セミナーで、翌14日には森ノ宮医療学園専門学校で活動報告会が行われました。

日本でも毎年2万人の患者が発生し、年間2000人が亡くなっている結核。不安定な薬剤供給などによる薬剤耐性結核の発生

と、HIV/AIDSとの複合感染による発症率の上昇は世界中で大きい問題となっています。なかでもア

フリカでは、高額な薬価や薬剤不足、強い副作用などにより1日約2000人が命を落としているのです。

モクサアフリカは、日本式の直接灸を投薬治療の補助療法として、また薬品

が得られない地域での代替療法として、現地の医療従事者を通じて患者さんやそのご家族に指導することで、短期の医療

ボランティアではなく、治療の手段そのものを提供しています。2011年にウガンダのマケレレ大学において180人の患者さんが参加するRCTが開始され、伊田屋さんの来日中に、排菌期間の短縮、免疫力の賦活、副作用の軽減、QOLの改善など良好な結果が出ました(現在データの分析中。詳しい発表はマケレレ大学から行われます)。今後は南アフリカで、入院患者さんを対象としたRCTを開始する予定です。

モクサアフリカについては鍼灸OSAKA106号・110号で紹介し、こちらからWEB版(無料)をダウンロードできます。

<https://www.morinomiya.ac.jp/book/pdf.html#ContentWrapper>

また、伊田屋さんは114号座談会にも登場します。

モクサアフリカへのお問合せはjapanmoxafrica@gmail.com
ご寄付はゆうちょ銀行17420-24595371 モクサアフリカ
ジャパンまで。寄付金はもぐさ代に使われます。

メディカルアロマから

森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科准教授 森 美侑紀

プロバスケットボールチーム
「大阪EVESSA」選手のコンディショニング作り

私はアロマセラピーを用いて、大阪EVESSAで活躍するプロバスケットボール選手のコンディショニング作りを行っています。筋疲労や様々な外傷、慢性の痛みを抱えている選手に対して、鎮痛、抗炎症、筋緊張緩和、血流促進、うっ滞除去作用などのある精油を、体調に合わせて数種類ブレンドし、塗布やアロママッサージとして用いています。選手からは、「外傷後慢性的な膝の痛みに悩まされていたが、随分楽になった。」「肩に痛みがあり動きが悪かったが、痛みも軽くなりパフォーマンスが向上した。」「アロマなしでは考えられない。」などと好評です。

アロマセラピーは、運動器疾患の機能回復や消炎鎮痛を目的とする理学療法の一つとして、また急性期から慢性期まで補助療法としても用いられており、特に可動域の改善や疼痛などの症状が劇的に軽減する症例も多く、注目されています。特に慢性の痛みでは不安や緊張、うつ状態、ストレスなどが痛みを増強していることも少なくありません。精油の中には抗不安や抗うつ作用、緊張をやわらげる効果に優れているものがあり、これらの精油を併用することにより心理的にも痛みの緩和に働きます。

“心と体のキレイのために”ウェルエイジング講座開講

「2014冬“燃やせる身体”に変わる!『代謝UPアロマ』と題して開講。冷えやむくみを改善し、基礎代謝を高める精油を用いたアロママッサージ+ツボ刺激+楽々ストレッチの3本立て!今こそ、究極の痩せやすい身体を手に入れましょう。男性も歓迎!

- **実技** 1.基礎代謝を高める精油を用いたブレンドオイルの作成
2.ブレンドオイルを用いたセルフマッサージ&ツボ刺激 3.代謝アップに効く楽々ストレッチ
- **開講日時** (1回完結)11/22(土)13:00～14:30/12/5(金)19:00～20:30
- **講師** 森 美侑紀(森ノ宮医療大学大学院保健医療学研究科准教授・同学園専門学校柔道整復学科教員)
- **定員** 各回先着30名様 ● **参加費** 1,000円(材料費込)
※詳細および申し込みは専門学校ホームページ
<http://www.morinomiya.ac.jp> イベント情報をご覧ください。

学会情報

9/28

日本小児はり学会
第8回学術会集会テーマ
「すくすく育つ子供たちのために
—アトピーと小児はり—」

ステロイドを使い続けることの是非を問う小児科医の佐藤美津子先生の診療経験を公開講座でお話しいただきます。また「私のアトピー治療」と題し恵美公二郎、永澤充子、中村真理の3氏による実技披露とパネルディスカッション。ほかに一般口演やオーストラリアの小児はりも紹介されます。

- **時間** 午前10時～午後5時
- **場所** 森ノ宮医療学園専門学校
本館7階 講堂

- **参加費**
会員4000円、会員外7000円、
学生3000円(8月末まで)／
会員5000円、会員外8000円、
学生4000円
☆懇親会費 5000円
☆詳しくはホームページ
<http://shounihari.com>

11/30

第23回
日本刺絡学会学術大会テーマ「日本刺絡学会初代会長
森秀太郎を語る」

20数年前、刺絡鍼法存続への熱い思いを共有した同志によって設立された日本刺絡学会。その初代会長を務めた故森秀太郎(森ノ宮医療学園初代理事長)の業績と人となりを振り返ります。会頭講演は氏の息女の森(井上)悦子氏による「日本刺絡学会初代会長森秀太郎を語る」、パネルディスカッションでは親交の深かった南利夫、山下健、長野仁、杉原朝香各氏が思い出を語られます。その他、上馬場和夫氏、西田皓一氏による講演を予定。

- **時間** 午前9時30分～午後4時
- **場所** 森ノ宮医療学園専門学校
本館7階講堂
- **参加費**
会員5000円、会員外8000円、
学生3000円／(当日受付は各1000円増し)
懇親会費 5000円
詳しくはホームページ
<http://shirakugakkai.com/23th/index.html>

本の紹介

柔道整復学科教員の川畑、外林両氏も翻訳執筆!
「エビデンスに基づく疾患別
クリニカルマッサージー評価と治療ー」丸善出版／2014年2月26日発行
4800円(本体・税抜き)

医療やスポーツの現場ではさまざまな手技療法が行われます。そこで多くの施術者がさまざまな講習会や書籍(DVD)などでこれらを学ぶことになりましたが、その多くはテクニックの紹介にとどまっており、症状や疾患に応じた使い分けなどは、施術者の経験にゆだねられているのが現状です。

本書は米国のセラピストの教育レベルをあげるために作成された書籍であることから、テクニック中心の内容ではなく、各疾患の病態や評価から施術までの流れ、ケーススタディなどを示すことで、より実的な考え方を身につけることができるような構成になっています。したがって本書は教育現場での参考図書としても有効に活用できるだけでなく、なにより臨床現場に立った際に役立つ1冊といえます。





地域の災害時医療を担う

みどりの風クリニック院長 宮崎 義雄

東成区医師会では、この6月から東成区医療機関の班分けを再編成しました。以前から東成区の医療機関はA～D班まで東成区をざっくり4分割されていましたが、今回の改正で各班が小学校の校区を基準に班分けされることとなりました。理由は緊急災害対策のためで、災害時医療を、各小学校を拠点に行っていくためであります。みどりの風クリニックはB班に属しており、東中本小学校の校区になっています。B班はほかに北中道小学校、中本小学校の校区も含まれますが、当クリニックは災害時、東中本小学校を拠点に医療活動を展開することになります。私自身このたびの再編成において、東中本小学校校区長に任命されております。ですからこの校区での災害医療の指示を行っていくとともに、東中本小学校での災害訓練等にも医療機関の代表として参加させていただくことになります。東北での災害医療の経験を生かして、クリニックの職員一同東成区の地域医療のために貢献していきたいと考えています。



東北での医療ボランティア



医療ボランティアスタッフの皆さんと

みどりの風鍼灸院から ～心に残る症例⑤～

みどりの風鍼灸院 中島 茂

重症急性膵炎であった症例

鍼灸師資格を取って6カ月後、あるきっかけで約4年間、開業産婦人科医院で鍼灸治療をさせていただいていたときの症例である。当時、附属鍼灸室では医師の診察を受けなくても鍼灸治療だけでも受診が可能であった。症例は50歳、男性、保険会社勤務。平成元年4月22日、保険外交の外回りが終わって午後2時頃に行きつけの理髪店に行った。いつものように散髪の最後にハンディ電動マッサージ器で肩をほぐしてもらっている途中に気分が悪くなって悪心が出現した。会社に戻らず、そのまま帰宅した。自宅で3回嘔吐したが眩暈、頭痛、下痢も腹部痛もなかったので医療機関は受診していない。奥さんが、当産婦人科の患者で、鍼灸治療で何とかならないかと思っ

鍼灸師と漢方医のコラボ会2

～ほんまもんとの出会い

みどりの風クリニック漢方内科 新谷 卓弘

本誌12号で、鍼灸師と漢方専門医のコラボ会を紹介しました。おかげで2013年3月～2014年7月まで計8回実施できました(奇数月の第4土曜開催)。会の流れは、製薬会社から薬方解説があり、続いて鍼灸師と医師から話題提供をして参りました。

東洋医学の諺に「薬を売る者は両眼、薬を用いる者は一眼、薬を服する者は無眼」があります。治療家が同一漢方を処方しているにもかかわらず、患者さんの反応がまちまちのことがあります。患者さんの不摂生がなければ、生薬の品質による影響が考えられます。本年5月のコラボ会では、この「ほんまもん」に関連する話題がありました。

講師は豊中市でご開業の岡本章子鍼灸師でした。先生によりますと、市販の珈琲の殆どは生豆を焙ってから1週間以上経過したものが使われ、酸化しきった豆(腐った豆)を飲用していて、このため胃腸を崩しているそうです(ブラック珈琲を飲めない方の多くは、これが原因です)。本来、珈琲豆にはクロロゲン酸という抗酸化能の高いポリフェノールが含まれていますが、酸素を取り込みやすい分、林檎のように腐りやすい性質があるからです(参考:『コーヒーは生鮮食品だ!』一宮唯雄著)。

1970年にJean Mayerが「夫を早死にさせる10カ条」で、「濃い珈琲をたくさん飲ませましよう」と提唱していますが、酸化した珈琲は身体に良くないという手本だと考えられます。この「ほんまもん珈琲」は11月の学園祭でも公開します。ご興味のある方は是非試飲してみてください。



の食事内容は特に嘔吐に関与するものは食べていない。身体所見については腹部触診で圧痛なし、反動痛(－)、デファンス(－)、上腹部押圧で悪心(＋)、腹部手術痕なし。嘔吐に対する鍼灸治療を行い、「とにかく、今の状態より症状が悪くなったら直ちに病院に行ってください」と奥さんに指示して、治療を終了した。翌朝、産婦人科院長が「昨日、嘔吐で鍼灸を受けた患者さんの奥さんから今、電話連絡があった。あれから帰宅後すぐに救急車で病院に搬送したが夜に亡くなった。死因は重症急性膵炎だった。はりの先生に伝えておいてください」という内容だった。ショックだった。その後しばらく鍼灸治療が怖かった。鍼灸治療には多くの重篤ではない症状に数少ない重篤な疾患が混じることがあることを思い知らされた。

患者の病気や病状そのものが持つ予後が生命に直結し、緊急に専門医に診断や治療を依頼する必要がある状態であるのかの判断は、鍼灸師自身の知識、経験、身体診察等に大きく左右される。本症例は、自分自身がすべてにおいて未熟であったことが、最悪の結果になってしまった心に残る症例である。

森ノ宮医療大学 寄付金の募集について



平素は本学の大学運営並びに教育研究事業に格別のご支援を賜り、誠に有難うございます。また、第1期寄付金募集期間におきましては、多くの方々よりたくさんのご支援を賜りましたこと、ここに深く感謝の意を表します。

本学は平成19年4月の開学以来、地域医療を担う専門職医療人を育成する大学として教育・研究環境の整備に努めてまいりました。平成23年3月には、第一期生を無事世に送り出すとともに、同年4月には看護学科および大学院保健医療学研究科修士課程をスタートさせ、より多くの優秀な学生や気鋭の研究者が集う大学を目指してきました。さらに、平成24年4月から、鍼灸学科にスポーツ特修コースを設け、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)が取得できる教職課程の認定を受けることができました。今後も引き続き臨床、研究、教育の分野で活躍できる人材を育成する大学として、施設や教育・研究機材の更なる整備が必要不可欠であると考えております。また、在学生や卒業生はもとより、広く地域社会からの要望に応え、より一層魅力あふれる存在意義の明確な大学として広く社会貢献に資するよう、教職員一同、懸命に努力を積み重ね、高度専門医療職業人の養成を柱として邁進していく所存です。

森ノ宮医療学園、森ノ宮医療大学は今後一層、社会の期待に応えるべく、継続して環境整備に努めてまいります。何とぞ寄付金募集の趣旨をご理解くださり、今後ともご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

なお、ご寄付いただいた皆様のご芳名は大学にて末長く顕彰させていただきます。

学校法人森ノ宮医療学園 理事長 清水 尚道

森ノ宮医療大学 学長 萩原 俊男

森ノ宮医療大学 施設・設備拡充のための寄付金申込者ご芳名

平成25年10月1日～平成26年6月30日 お申込み分(敬称略)

温かいご支援(ご寄付)に心より感謝申し上げます。

校友会会員の皆様をはじめ保護者ならびに関係者の皆様より多くのご寄付を賜り、心より厚く御礼申し上げます。平成25年10月1日より平成26年6月30日までにご寄付いただきました方々のご芳名を掲載し、感謝の意に代えさせていただきます。今後とも教育の一層の充実発展のために、引き続き多くの皆様からのご支援とご協力をお願い申し上げます。

● 個人 1万円 …… 雨森俊仁(専・卒業生)

● 団体 200万円 …… 森ノ宮医療大学教育後援会※(555万円)
400万円 …… 森ノ宮医療大学学生会
256.5万円 …… 森ノ宮医療学園校友会
200万円 …… 武田薬品工業株式会社*
50万円 …… 花王株式会社*
100万円 …… 第一三共株式会社*

総計 12,075,000円

※ご芳名は、個人・法人に区分し、金額ごとに掲載いたしました。また2回以上のお申込みの場合は右端に累計金額も掲載させていただきました。

*奨学研究寄付金として寄付いただきました。

● 寄付金累計状況 (平成26年6月30日現在) (単位:円)

期 間	寄付金合計額
平成25年10月1日～平成26年6月30日	12,075,000
平成19年12月1日～平成26年6月30日	53,425,000

お問い合わせ

森ノ宮医療大学法人本部／寄付金担当:瀬川
e-mail : kifu@morinomiya-u.ac.jp